

茨城県立石崎小学校
学校だより

「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成28年2月26日

No.38

校長 西田 弘子

感動の閉校式典 ～石崎小よ 永遠に～



式典で挨拶を述べる河西実行委員長

21日の閉校式典では、お忙しい中、多数のご来賓、地域、保護者、卒業生の皆様においでいただき、心温まる閉校式典を挙げる事ができました。この日に至るまで、実行委員の皆様には、記念誌の編集、記念品の手配、式典の準備・係分担など、大変お世話になりました。また、区長の皆様には、記念誌配付に際しましてお手数をおかけしました。改めて、厚くお礼申し上げます。

子どもたちは、思い出に残る式典にしようと、互いに知恵を出し合い、時には意見をぶつけ合いながら、力を合わせて準備してきました。そして本番。どの子どもも堂々と発表することができました。たどたどしさが残る練習の段階からずっと見てきた私たちは、子どもたちの本番でのがんばりに思わず目頭が熱くなりました。

式典を終える時、会場から大きな拍手をいただきました。子どもたちのがんばりを会場の皆様にも認めていただき、私たちもうれしくなりました。地域の方にとっても子どもたちにとっても、きっと心に残る式典になったことと思います。そして、子どもたちは石崎小の誇りを忘れずに、葵小学校や明光中学校でも精一杯がんばってくれると確信することができました。

このような素晴らしい子どもたちを温かく見守り、育ててくださった保護者、地域、関係者の皆様、そして石崎小学校に、私たちも大きな拍手を送らせていただきたいと思います。142年間の長い歴史に、敬意と感謝の気持ちを込めて……。

石崎小グランドフィナーレ



校旗返納・・・学校長から町長へ



「石崎っ子の集い」実行委員のメンバー



感動を呼んだ児童代表の挨拶（6年佐々木さん）



俳句で綴る石崎小の1年間（3年生）



息の揃った石崎っ子ソーラン（４年生）



とても可愛らしかったダンス（２年生）



この１年でできるようになったこと（１年生）



思わず運動会を思い出した組体操（６年生）



しらさぎ祭り（モグラ叩き）を再現（５年生）



未来に届け、石崎っ子の想い「ピリープ」



感謝の気持ちを入れて、グランドフィナーレ



和やかな雰囲気の中、PTA総会（感謝状贈呈）

♥閉校式典の様子が、茨城新聞（H28.2.23発行）に掲載されました。

茨城町で閉校式
茨城町下石崎の町立
広浦小（石毛常日校長）
で20日、同町中石崎の
町立石崎小（西田弘子
校長）で21日、それぞ
れ閉校式が開かれ、約
140年に及ぶ歴史の
幕を閉じた。両校は4
月から、同町長岡の町
立長岡第二小跡に新た
に生まれる町立葵小に
統合される。

閉校式典は、校旗返
還や実行委員長らがあ
いさつする式典と、児
童が音楽や学習の成果
を発表する集いの2部
構成で行われた。

廣浦小では全児童に
よる太鼓の演奏や、「広
小ソラン」などのダ
ンスが披露された。石
崎小では、80年前の校
舎の写真や四季の行事
をスライドショーで紹
介。学年ごとの発表で

俳句を使ったり寸
劇を交えながら、学校
行事を振り返った。

酒沼の北側に位置す
る両校は、最初となる
上石崎小が1873
（明治6）年、廣浦小
の前身の下石崎小が75
（同8）年、石崎小の
前身の中石崎小が87
（同20）年に開校。酒
沼の浄化活動などを熱
心に進めてきた。

（武藤秀明）

廣浦小
140年の歴史に幕
石崎小



俳句や寸劇を交えて、学校行事の四
季を子どもたちが発表＝町立石崎小

木村 敬 元校長先生から、お手紙をいただきました。

前略

閉校式のご案内、ありがとうございます。一番思い出の多い学校が閉校式を迎えることに、一抹の寂しさを感じています。

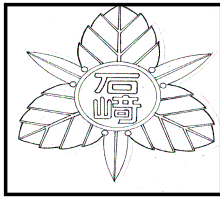
当時の子どもたちや先生方が一緒に懸命に学習に取り組んでいたことが、今でも思い出されます。

また、それを地域の人やPTAの方々が子どもたちの為と、私心なく応援し協力してくれた、本当に素晴らしい学校でした。

特別なことはありませんが、私にとっては、県下、いや全国に誇れる学校でした。

学校を去った者は、思い出しか語れません。閉校という現実の前では、今いる人たちがこれから新しい学校を、素晴らしい学校を創造していかれることを切に願っております。

敬具



茨城町立石崎小学校
学校だより

「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成28年2月12日

No.37

校長 西田 弘子

閉校式典に向けて、ただいま準備中

21日の閉校式典に向けて、準備が着々と進んでいます。子どもたちは、発表練習の真っ最中。教室からは、かわいらしい歌声や呼びかけが響き渡っています。各学年とも、来ていただいたお客様の心に残るような発表になるよう、俳句や呼びかけ、歌、寸劇など工夫を凝らしています。あとは、本番で、人前でも恥ずかしがらずに堂々と発表できるように、練習を積み上げていだけます。



発表の練習をする4年生

子どもたちの発表の他に、石崎小の歴史を振り返るスライドショーも予定しています。お忙しい中、PTAの大和さんが編集してくださいました。ありがとうございました。

当日は、ご家族や卒業生、ご近所の方々など、皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。石崎小の一世一代の晴れ姿を、皆様とともに心に刻み込んでいきたいと思ひます。



- ★ 式典当日は、上履き（スリッパ等）をご持参ください。
- ★ 式典会場を飾った鉢花は、記念品として児童一人に一鉢ずつ配ります。式の終了後、教室に移動しますので、持ち帰る際には保護者の皆様のご協力をお願いします。（袋は用意してあります）
- ★ 保護者の皆様にも、ささやかながら記念品を用意してあります。受付を済ませてご入場ください。

石崎小 フォトアルバム



正美幼稚園との交流会で、幼稚園生をもてなす1年生

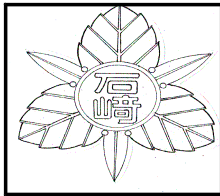


業間休みに縦割り班で大縄（8の字跳び）に挑戦



新聞教育出前授業で、新聞の工夫について説明する坂場元校長先生・・・最後は、「いつもの」手品で、締めました。





ただいま、欠席0の日 53日

4月1日から現在まで、欠席者が一人もない日が、**53日**になりました。このことは、大きなけが・病気がないことや登校をしぶる子がいないことを表しています。これからも元気に登校して、この数字を増やして行ってほしいと思います。

しかし、数字ばかりに気を取られ、体調が優れないときまで無理して登校する必要はありません。近隣の学校では、インフルエンザがかなりはやってきたようです。今のところ、石崎小では感染者は出ていません。これからもうがい・手洗いをしっかり行って、予防に努めてほしいと思います。また、換気や湿度にも配慮が必要です。学校では、各教室に湿度計を揃え、湿度の管理を行っています。また、玄関には簡易マスクや消毒液を用意しました。保護者の方も、来校の際には、どうぞご利用ください。

先月の児童集会では、給食委員会の発表がありました。クイズなどを取り入れながら、給食について楽しく学ぶことができました。また、給食の献立に「手巻きおにぎり」の日がありました。子どもたちは上手におにぎりをにぎって、楽しく会食していました。給食センターの皆さんから、「石崎小は給食の残りが少ない」と褒められています。これからもたくさん栄養をとって、元気な体で風邪のウィルスを吹き飛ばしましょう。



児童集会でクイズを出す給食委員



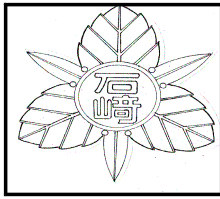
自分のにぎったおにぎりを、おいしそうに頬張る2年生（手を挙げている子はおかわりを希望しています）

標準服 Q&A

皆様から寄せられた疑問について、近隣の小学校に聞いてみました。

- Q1. 標準服の仕様は分かりましたが、ダブルとシングルではどちらを買えばいいのですか？
A1. どちらでも大丈夫です。長二小では、ダブルを着ている子が多いようですが、だからといって、シングルを着ていて違和感をもたれることはありません。
- Q2. 男子の標準服の下に着る服はポロシャツ、白シャツ？ 白シャツの襟の形は？
A2. 男子は角襟のYシャツやポロシャツなどが半々です。普段はポロシャツが多いようですが、儀式のときなどは白シャツが良いそうです。夏はポロシャツが多いです。
- Q3. 男子の半ズボンの丈は、短いものとやや長めのものがあるようですが、高学年はどちらがいいのでしょうか？
A3. 好みで分かります。高学年になると長めの丈の半ズボンを履いている子が多いようです。
- Q4. 上履きの色は何色？（学校だよりでは白黒で分かりません）
A4. 大変失礼しました。白地に、青色のラインでお願いします。





心を込めて ～書き初め大会～

8日に行った校内書き初め大会。3・4年生の毛筆を指導してくださっている野口節子先生に、書き初めを始めるに当たって、気をつける点や上手に書くポイントなどを説明していただきました。野口先生には、18年間という長い間、社会人講師として児童の書写力向上にご協力をいただきました。親子2代にわたって教えた子もいるそうで、石崎小学校の閉校に対して感慨深いものがあるとのことでした。野口先生のお話を聞いていた私たちも、思わず胸が熱くなりました。

子どもたちは、書き初めに真剣に取り組んでいました。できあがった作品は、廊下に展示しました。書き初め大会は、上手な字を書くと同時に、新しい年の門出にふさわしい思いや希望を書き託し、力強く新年をスタートさせる決意表明でもあります。6年生は、「夢の実現」と書きました。自分の夢に向かって、1歩1歩着実に歩いていってほしいと思います。



学校関係者評価委員会を開催しました。

21日には、学校評議員、学校関係者評価委員の皆さんにおいでいただき、授業参観や学校給食の試食会を交えながら、学校の取組等について評価していただきました。子どもたちの態度に落ち着きが見られたことや算数、音楽などの授業に意欲的に取り組み、発表の仕方にも工夫が見られたことなど、お褒めの言葉をたくさんいただきました。閉校・統合に向けての意見も出され、今後さらに3校の学区の地域連携を進めていくことの大切さを確認しました。お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。



お知らせ

- 17日に行われた、町子ども会ふるさとかるた取り大会では、「石崎 Kids」(守永美沙さん、海老澤世奈さん、江橋陽奈さん、坂場詠斗さん、宮部彩奈さん)が敢闘賞を受賞しました。おめでとうございます。
- 2月21日に、閉校式典・PTA総会を行います。ぜひ、ご家族・ご近所の方もお誘い合わせのうえ、ご参加ください。翌22日は、振替休日となります。



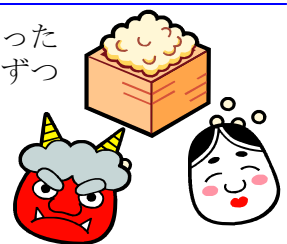
【「元気になるメッセージ」をいただきました】

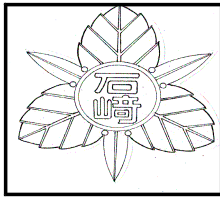
- 車でお迎えの時、ゆっくり来てと言います。待っている間の先生との会話が楽しいからだそうです。ありがとうございます。
- もう残すところ、数ヶ月となりました。良い思い出となるよう、宜しくお願いします。先生あっての学校生活です。寒くなってきたので、体調には気をつけて頑張ってください。
- 読書感想文を全校生徒の前で読んだり、誌を「ひばり」に載せていただいたり、本人の自信につながる機会を度々与えていただき、ありがとうございました。
- 石崎小学校最期の時期が近づいてきていますが、どうぞ今まで通りのご指導をお願いします。いつも子どもたちを熱心に指導していただき、ありがとうございます。家庭で行き届かないところまで指導していただけるので、とても助かっています。
- 廃校を間近に控えて、先生方もお忙しい日々と思いますが、6年生だけでなく在校生が希望をもって明るく葵小学校へ巣立っていけるよう、よろしくお願いします。
- 「今日は先生に〇〇と褒められた」と話しており、やる気や自信に続くと思えます。ありがとうございます。
- 学校での出来事や子どもの状況を細かく教えていただき、ありがとうございます。お陰で、安心して学校まで送り出せています。
- いつもお疲れ様です。個々の生徒をまとめていくことは本当に大変なことだと思えます。先生方の努力、お察しします。
- いつもお世話になっております。勉強などよく見ていただきまして、ありがとうございます。卒業に向けて忙しいとは思いますが、よろしくお願いします。
- クラスの雰囲気がとても良いと思えます。安心して登校させています。先生方に感謝しています。
- 入学当初は息子を学校に送り出すのが心配で不安でしたが、日を重ねる毎に学校生活に慣れ、自分の居場所を作った息子は学校が大好きになり、私の不安もいつの間にかなくなりました。きっとそれは石崎小の友達や先生や学校全体が温かいからだと思えます。未だに問題を起こす息子ですが、温かく見守ってくださる先生方には本当に感謝しています。学区外の小学校ではありましたが、石崎小に出会い、入学できて本当に良かったと私も主人もそして息子も思っています。
- 怖いときもあるけど、とてもおもしろい先生だといつも話しています。叱るときは叱る、楽しむときは楽しむ、メリハリのある指導をしてくださっていると思えます。ありがとうございます。
- 毎日、子どもたちの朝の登校を見守っていただき、ありがとうございます。
- うちの子は学校が大好きです。これからもよろしくお願いします。
- 石崎小もあと少し、みんなで盛り上げて楽しく最期まで過ごしましょう。
- 担任の先生が子どもたちのことをとても熱心に指導してくれているのが分かり、感激しました。
- たくさん先生方とおしゃべりができて、毎日楽しいようです。将来は先生になりたい、と言っているのも優しい先生方の影響だと思えます。あれこれやりたがる子で手もかかると思いますが（私はいつもヒヤヒヤです）よろしくお願いします。
- いつも温かい励ましの言葉をかけていただき、ありがとうございます。先生方のお陰で素直に進んでよい行いをする事ができるのだと感じております。統合後も「良いことはよい」という石崎小の良い面がつぶされなことを願います。努力することを否定するようなことがありませんように。

たくさん励ましの温かいおことば、ありがとうございました。もらったエールをしっかり受け止め、これからの生活の中で、子どもたちに少しずつ返していきたいと思えます。

残りわずかとなった石崎小学校での生活ですが、子どもたちが自信と希望をもって葵小学校へ羽ばたいていけるよう、保護者、地域、学校が一体となって子どもたちに寄り添い、励ましていければと思います。

今後とも、よろしくお願いします。





茨城町立石崎小学校
学校だより

「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成28年1月12日

No.34

校長 西田 弘子

第3学期始業式 ～みんなの顔が光ってみえた～

6日の朝。静かだった石崎小に、児童の元気な姿が帰ってきました。新しい学期のスタートです。

始業式では、2名の児童が全校を代表して新年の抱負を発表しました。算数や縄跳びをがんばりたい、石崎小ももうすぐ閉校になるので、友達を大切にしたい思い出を作りたい等々、堂々と発表することができました。

学校長からは、「今年の干支は丙申(ひのえさる)です。いろいろなことが明らかになるということの意味しています。今年は今まで努力していたことが現れるようになる年です。これまでがんばってきたことを最後の石崎小の児童の姿として示せるようにしてほしいです。そして、残りの日々を、本当に楽しく、最高の学校にするために本気になってがんばってほしいです」と話がありました。

子どもたちは、真剣な表情で聞いていました。体育館の中に降り注ぐ初春の光を浴びて、一人一人が光って見えました。

なんでもいいからさ
本気でやってごらん
本気でやればたのしいから
つかれても
つかれても さわやかだから
相田 みつを



ご厚意に感謝します。～標準服のご提供がありました～

明光中や長岡小の保護者の方々から、標準服をいただきました。本当にありがとうございます。サイズ等については以下のとおりです。希望される方は、1月末までに、石崎小、稲田 までご連絡ください。なお、希望者多数の場合は抽選となりますので、予めご了承ください。

- ブレザー (いずれもダブル) 130cm 2着(1着はボタン1個欠), 140cm 3着, 160cm 1着
- 紺半ズボン 140cm 1着
- 紺スカート 130cm 1着, 160cm 2着
- グレーのベスト 150cm 1着
- 白シャツ 150cm 長袖4着, 140cm 長袖3着, 130cm 長袖1着
140cm 半袖4着, 150cm 半袖1着

避難訓練を実施しました。

7日(木)に、原子力事故を想定して、避難訓練を行いました。今回は、事前に知らせずに、昼休みに緊急放送を流しました。それでも、子どもたちは、落ち着いてすばやく行動することができました。放射線は目に見えず実感しにくいだけに、日頃の訓練が大切だと改めて感じました。



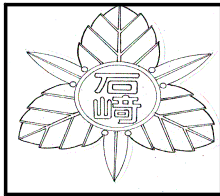
【 本校教育に対する要望やご意見等 】

- いつもお世話になっております。残り4か月となりましたが、安全に楽しく過ごせるようよろしくお祈りいたします。子どもの成長を楽しみにしています。
 - 言葉遣いが粗くなったり、お兄ちゃんをはたいてしまったりと言うことが増えてきました。うちでもしっかり注意していきますので、よろしくお祈りいたします。
 - いつもお世話になっております。少人数での学校生活もあと数ヶ月となり、親としての心配事も少しずつでてきました。本人は楽しみなようですが・・・。それだけ「見てもらえてる」という安心感があつたんだと思います。ありがたいことだといつも思っています。
 - 閉校までもう残りあとわずかではありますが、子どもたちが「石崎小で過ごせてよかった。楽しかったな。」と思えるよう、子どもたちに対して、時に厳しく、でも温厚に接していただけますよう、よろしくお祈りいたします。
 - 弁当廃止
→（給食費を据え置き、授業時数を確保するために、止むを得ずお弁当作りをお願いしておりますので、何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。）
 - 残り少ない石崎小での学校生活、笑顔で楽しく、よい思い出で終わらせてあげてください。
 - 来年度が心配です。集中力がつけばと思います。
 - 「間違っていることは間違っている」正しく指導していただける学校教育を望んでいます。
 - 決して恵まれた環境ではない石崎小学校ですが、先生方、地域の皆様に支えられ、子どもたちは毎日安全に登下校をすることができ、楽しい学校生活を過ごすことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。運動会、しらさぎ祭り、とてもすばらしかったです。ありがとうございました。
 - こちらで出せない本音を、先生方に出すことがあると思います。何でもいいので、教えていただくと助かります。
 - 来年度とても心配です。よろしくお祈りいたします。
 - 閉校まであとわずかとなり、寂しい気持ちでいっぱいです。子どもたちからもその気持ちを感じます。合併に向けて、自分の意見や考えをしっかりと主張できるようご指導お祈りいたします。
 - 宿泊学習でのキャンプファイヤーのダンスを学習発表会で見せてほしいです。みんなで考えたダンス、よろしくお祈りいたします。
 - しらさぎ祭りで、釣り糸が絡まってしまった際、子どもたちの失敗・責任を迫りし続けていたのに違和感がありました。子どもは失敗します。予行練習では失敗しなかったからと言って、同じようにできて当然ではないと思います。先生には、ぜひそんな子どもたちをおおらかな気持ちで受け止めていただきたいです。残り少ない石崎小学校での生活が豊かで実りあるものになるよう、これからよろしくお祈りいたします。
- （教職員が子どもたちのよさに目を向け、温かい言葉かけのモデルとなれるように、十分に気をつけていきたいと思っております。）

閉校まで残りわずかになり、保護者の皆様の、石崎小との別れを惜しむ気持ちや葵小学校への期待する気持ち・不安になる気持ちを私たちはしっかりと受け止めていかなければならないと感じました。よい思い出を作ることや新しい学校へ向けて一人一人に自信と活力をつけることに、全力で取り組みたいと思っております。また、私たちの指導へのご意見に対しては、真摯に受け止め、今後の活動に生かしていきたいと思っております。
たくさんのご意見、ありがとうございました。

【元気になるメッセージ】

- 車でお迎えの時、ゆっくり来てと言います。待っている間の先生との会話が楽しいからだそうです。ありがとうございます。
- もう残すところ、数ヶ月となりました。良い思い出となるよう、宜しくお願いします。先生あつての学校生活です。寒くなってきたので、体調には気をつけて頑張ってください。
- 読書感想文を全校生徒の前で読んだり、誌を「ひばり」に載せていただいたり、本人の自信につながる機会を度々与えていただき、ありがとうございました。
- 石崎小学校最期の時期が近づいてきていますが、どうぞ今まで通りのご指導をお願いします。いつも子どもたちを熱心に指導していただいて、ありがとうございます。家庭で行き届かないところまで指導していただけるので、とても助かっています。
- 廃校を間近に控えて、先生方もお忙しい日々と思いますが、6年生だけでなく在校生が希望をもって明るく葵小学校へ巣立っていけるよう、よろしくお願いします。
- 「今日は先生に〇〇と褒められた」と話しており、やる気や自信に続くと思います。ありがとうございます。
- 学校での出来事や子どもの状況を細かく教えていただき、ありがとうございます。お陰で、安心して学校まで送り出せています。
- いつもお疲れ様です。個々の生徒をまとめていくことは本当に大変なことだと思います。先生方の努力、お察しします。
- いつもお世話になっております。勉強などよく見ていただきまして、ありがとうございます。卒業に向けて忙しいとは思いますが、よろしくお願いします。
- クラスの雰囲気がとても良いと思います。安心して登校させています。先生方に感謝しています。
- 入学当初は息子を学校に送り出すのが心配で不安でしたが、日を重ねる毎に学校生活に慣れ、自分の居場所を作った息子は学校が大好きになり、私の不安もいつの間にかなくなりました。きっとそれは石崎小の友達や先生や学校全体が温かいからだと思います。未だに問題を起こす息子ですが、温かく見守ってくださる先生方には本当に感謝しています。学区外の小学校ではありましたが、石崎小に出会い、入学できて本当に良かったと私も主人もそして息子も思っています。
- 怖いときもあるけど、とてもおもしろい先生だといつも話しています。叱るときは叱る、楽しむときは楽しむ、メリハリのある指導をしてくださっていると思います。ありがとうございます。
- 毎日、子どもたちの朝の登校を見守っていただき、ありがとうございます。
- うちの子は学校が大好きです。これからもよろしくお願いします。
- 石崎小もあと少し、みんなで盛り上げて楽しく最期まで過ごしましょう。
- 担任の先生が子どもたちのことをとても熱心に指導してくれているのが分かり、感激しました。
- たくさん先生方とおしゃべりができて、毎日楽しいようです。将来は先生になりたい、と言っているのも優しい先生方の影響だと思います。あれこれやりたがる子で手もかかるとは思いますが（私はいつもヒヤヒヤです）よろしくお願いします。
- いつも温かい励ましの言葉をかけていただき、ありがとうございます。先生方のお陰で素直に進んでよい行いをするのができるのだと感じております。統合後も「良いことはよい」という石崎小の良い面がつぶされないことを願います。努力することを否定するようなことがありませんように。



茨城町立石崎小学校

学校だより

「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成28年1月6日

No.33

校長 西田 弘子

平成28年スタート ～本年もよろしくお祈りします～

新しい年が始まりました。気持ちも新たに、職員一同、石崎小学校として最後の3か月を有意義なものとなるよう、精一杯頑張っていきたいと思っております。

さて、閉校・統合に向けての準備もいよいよ大詰めになってきました。閉校に向けては、記念誌の編集、記念式典の計画、記念品の準備、PTA活動の総決算など、保護者の皆様や地域の方々の協力をいただきながら、準備を進めてまいりました。また、葵小学校統合に向けては、標準服・体操服の仕様やスクールバスの運用、PTAや後援会の組織編成、教材備品の準備・搬入計画、予算案の作成等々、統合する3つの学校と連絡・調整を図りながら、何度も話し合いを重ねてきました。これからも、新年度の教育計画立案など、やるべき課題は満載ですが、最も大切な子どもたちの健全育成のために、学習面・生活面の充実を図っていきたいと思っております。保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお祈りします。

保護者の皆様と学校づくりをするためのアンケート調査」集計結果（平成27年12月実施）

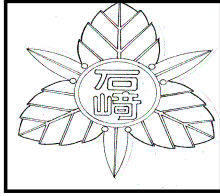
7月よりも0.1ポイント以上の変動があったものについては、○▲で表示してあります。

(右の評価の数字は4点を最高点とした数値を示しています。)

項目	番号	内 容	評 価	
			7月	12月
学 力 向 上	1	先生は、子どもに 分かりやすい授業 をしている。	3.68	3.62
	2	先生は、学習の 基礎基本の定着 のために努力をしている。	3.68	3.59
	3	先生は、子どもたちの やる気を出させる工夫 をしている。	3.63	3.51 ▲
	4	先生は、 家庭学習の充実 のために、子どもたちに積極的に働きかけている。	3.55	3.60
豊 か な 心	5	学校は、 きれいな環境 を作り、思いやりの心を育てようとしている。	3.57	3.61
	6	学校は、行事や縦割り班の活動を通して、絆づくり・居場所づくりを行っている。	3.71	3.68
	7	先生は、 悩みや相談 など、子どもの話をよく聞いてくれる。	3.60	3.45 ▲
体 力 ・ 健 康	8	先生は、 子どものよさ を認めて、指導に当たっている。	3.63	3.54
	9	先生は、石崎しぐさなど、 基本的な生活習慣の定着 を図っている。	3.61	3.48 ▲
	10	学校は、 登下校時の交通安全指導 に十分に取り組んでいる。	3.52	3.54
学 校 づ く り	11	学校は、子どもの 体力向上のために教育活動 の工夫をしている。	3.48	3.58
	12	学校は、「 早寝早起き朝ご飯 」運動など家庭への啓発を行っている。	3.48	3.36 ▲
	13	学校は、 病気の治療や予防 など健康面の指導を十分にしている。	3.44	3.52
	14	学校は、子どもたちに 自分の身を守る態度 の育成を図っている。	3.45	3.47
子 ど も	15	先生や学校は、教育方針や学校・学級の様子をよく知らせている。	3.50	3.42
	16	学校は、 保護者や地域の方の意見 を生かした学校づくりに努めている。	3.54	3.45
	17	学校は、 地域や外部の人材 を教育活動に活かしている。	3.44	3.61 ○
	18	先生は、 愛情と情熱 をもって子どもたちを導いている。	3.57	3.53
	19	先生や学校を 信頼 している。	3.60	3.52
子 ど も	20	お子さんは、学校へ行くことを 楽しみに している。	3.62	3.51 ▲
	21	お子さんは、 安全に登下校 している。	3.48	3.50
	22	お子さんは、元気に明るい あいさつ をしている。	3.29	3.23
	23	お子さんは、よく 読書 をしている。	2.88	2.80
	24	お子さんは、 家庭学習 を行っている。(1・2年30分以上, 3年40分以上, 4年50分以上, 5年60分以上, 6年70分以上)	2.90	3.05 ○
	25	お子さんは、 考える力や表現する力 がついている。	2.80	3.01 ○
	26	あなたは、お子さんに読書をするように働きかけている。	2.76	2.86 ○
	27	あなたは、お子さんとの 会話の時間 を十分にとっている。	3.06	3.12
	28	あなたは、お子さんの ノート をよく見ている。	2.85	2.84

概ね高い数値となっておりますが、7月の結果と比較すると、全体的に数値が下降傾向にあります。この結果を真摯に受け止め、3学期の活動に生かしていきたいと思っております。

なお、個別にいただいたご意見・ご感想につきましては、別号にてお知らせする予定です。



茨城町立石崎小学校

学校だより

「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年12月24日

No.32

校長 西田 弘子

— 進級・進学に向けて「確かな学力」を —

～ 学力診断テストに向けて「見える学力」向上に 全力を尽くします ～

冬休み中もご家庭の皆様のご協力をお願いします。

2学期の学習を終えて、冬休みが始まろうとしています。本校では、これまで、算数を中心に児童が意欲をもって学習し、確かな学力が身に付く授業ができるように全職員で研修を深めてきました。

保護者の皆様の子どもの頃と比べて、今は学習内容も多くなり、ただ覚えるだけでなく、学んだ知識や技能を駆使して解かなければならない問題が増えているため、学校での学習だけでは内容を十分に身に付けることが難しくなっています。

1年生の足し算や引き算、2年生のかけ算、3年生の割り算や分数など、それぞれの学年で学んだ基礎的なことがすらすらできていないために、高学年の学習が思うように進まない子もいます。

学校では、1年間の総復習を始め、学んだことを確実に身に付けられるように努めています。

この冬休みは、クリスマスやお正月など、子どもにとって楽しい行事が続く時期ですが、冬休みも復習して確実に身に付け、自信をもって葵小学校や明光中学校に進ませたいと考えております。担任も各学年に応じた課題を出しておりますが、冬休みにより学習習慣が付くよう、ご家庭の皆様のご協力をお願いいたします。



～ 将来役に立つ「見えない学力」の向上に欠かせない「読書」にもご協力を ～

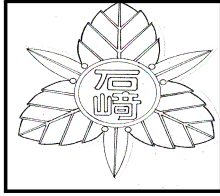
20年ほど前に出版された本の中で、「落ちこぼれをなくす教師の会」の主催者であり、100マス計算の生みの親でもある岸本裕史先生が、**読書と学力について**次のように述べています。

- 氷山は大部分が海面下に沈んでいて、8分の1だけが海面上に姿を見せています。子どもの学力も同じで、テストや通信簿で示される成績は、いわば「見える学力」です。その見える学力の土台には、「見えない学力」というものがあるのです。
- 「見える学力」を伸ばすには、それを支えている「見えない学力」をうんと太らせなければならないのです。貧弱な土壌では、果実もちっぼけなものしか実りません。
- 「見えない学力」の核心は言語能力です。言語能力を育てるもっとも効果的な方法は、子どもを**読書好き**にすることの他にはありません。
- 子どもは、読むほどにいろんな文章に接し、新しい言葉もどんどん覚えていきます。**言語能力は読書を通じて、めざましく伸びていく**のです。
- 文章を、リアルにイメージ化できるかどうかは、学力の獲得と定着度を左右する分岐点です。ページをめくり、文字をたどり、その内容や状況を頭の中に思いえがくことのくり返しが、ゆたかな想像力を養う大きな要因となるのです。単なる出まかせや、思いつきでない**本当の創造力**は、**ゆたかな想像力を母とし、たしかな学力を父として生み出される**のです。
- 読書の習慣がついていない場合は、子どもの本をまず**読み聞かせて**やることから始めるのがいいでしょう。親子ともども本に親しめるようになります。30分間でもできれば申し分ありませんが、**ほんの10分間読書でも良い**のです。本の楽しさや面白さと同時に、親も本を読んでいる、子どもに本を読んでもくれるといったことが、**子どもの読書意欲をひきたてていく**のです。

本校では、将来役に立つ「見えない学力」を高めるために、読書習慣をしっかり身に付けようと「読書50冊90%以上達成」を目標に掲げています。昨年は、全員が50冊以上を達成しました。3年生と6年生は、すでに全員が50冊読み終わり、100冊を目指しているところです。学校でもわずかな時間を惜しんで本を読む姿が見られます。

お子さんは、今年、何冊の本を読んだでしょうか？ぜひ確認していただき、読み聞かせや家読を進めていただければと思います。

1年間、大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年12月18日
No.30
校長 西田 弘子

～ 自分や生命の大切さに気づけた 「生命の講演会」 ～

龍ヶ崎済生会病院 陳 央仁先生の講演会を実施

本校では、一昨年から思春期の入り口に差しかかった高学年を対象に生命の講演会を実施しています。

思春期は、「生まれたときに建てた掘っ立て小屋を、壁などを取り払ってがっしりした建物に改築する時期」などと言われます。今まで、雨風が吹いてもそれなりにしのげていたのに、ちょっとしたことでも苦痛になるし、台風など、何か強い刺激があれば大きく揺らぐ時期です。

この時期は、「自分が何のために生まれてきたのか」と悩み、他人と比べて自信を失い、自暴自棄になったり非行や不登校になったりしかねない時期でもあります。自ら命を絶つ人も少なくはありません。

だからこそ、小学生の内に、自分の命の大切さを知り、自分のことが好きだと思えるように育てておきたいと切実に思っています。

陳先生は、産婦人科医としてこれまで4000人以上の出産に立ち会い、「もろく壊れやすい命を大切に子どもたちを育てたい」という強い信念を持って各地で講演をされています。

本校でも「今、生きていることが、どれだけ価値のあることなのか」「誰もが愛されるために生まれてきたこと」「自分らしく生きることの大切さ」などを分かりやすく話してくださいました。

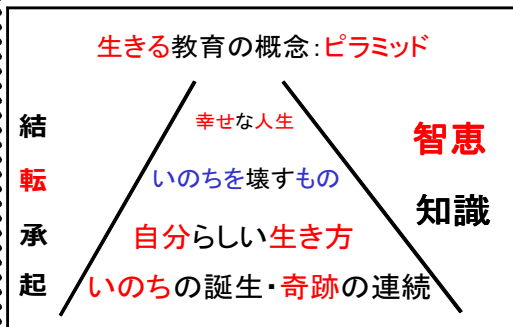
<講演の内容から>



○子どもたちへ

- ・受精から着床までの確率は、数億分の一で、10億円の宝くじに当選するより確率が低い。
- ・母親は、愛がなければ陣痛の痛みには耐えられない。命がけで産む。赤ちゃんも、頭が変形するぐらいの苦しい状態を頑張り抜いて、命がけで生まれてくる。あなたが生まれてきたこと自体が奇跡である。
- ・私たちの命は、数え切れないご先祖さまが、結婚するまで頑張って命をつないできた証。その命のバトンを引き継いでいくことが大切。
- ・思春期の苦しい時期を乗り越えるには、目標を明確にもつことや友達と支え合うことが大切。仲良しの友達と同じように、助けを待っている友達も大切にして、見て見ぬ振りをしないこと。人を助けて支えることは、いつか自分が助けを必要とするときに必ず役に立つ。

○保護者の方へのメッセージ



子どもたちが 幸せな人生を送るためには、ピラミッドのレンガを積み重ねていくような作業が大切。

命は、もろくて壊れやすいもの。今日の講演では、その土台となる「命の誕生は、奇跡の連続によるもので、命は尊いものだ」ということを子どもたちに伝えた。しかし、**土台をいいものにするには、保護者の愛が大切であり、それは家庭でしか育たないものだ。**

土台がしっかりしていると、子どもは自信をもって自分らしい生き方をすることができ、幸せな人生を歩むことができる。

○保護者の方へのお願い

- ①子どもに、生まれてきたときの喜びを伝える。ぎゅっと抱きしめ「あなたは、私にとってとても大切な人」と、伝える。「困ったときには相談してね。怒らないから」と伝える。
(どんなに辛くても、「心配をかけたくない」と、いわない子もいる。)
- ②子どもに、プラスの(肯定的な:ほめる,認める)言葉掛けをする。大事な選択をしなければならないときに、保護者からかけられた言葉が頭に浮かぶ。**子どもがうれしい言葉は「ありがとう」。人の役に立つことがうれしい。**
- ③両親(家族)が仲良くすること。安定した夫婦関係(家族関係)がないと子どもは安心できない。
※裏面もご覧ください

<児童の感想から>

- ・自分の子どもが生まれたら例え障害があっても、愛してかわいがってあげようと思いました。これから自分らしく生きようと思います。
- ・アフリカの子どもたちの話を聞いて、生きてくても生きられない子どもたちがとてもかわいそうでした。生きてられる私は、幸せです。この幸せをくれた母と父に感謝したい。
- ・赤ちゃんが生まれる直前、陣痛という最強の痛みが10時間も15時間も続くのに、お母さんはそれを耐えられるというのがすごい。家族に「産んでくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えたい。
- ・私は今まで、「自分にはいいところなんてあるのかな」と思っていたが、いいところは探せばいっぱいあることが分かりました。
- ・「君は愛されるために生まれた」の歌がすごく感動しました。今までで一番、命の大切さが分かりました。
- ・今まで、生まれてきてよかったと感じていなかった。お母さんが大変な思いをして産んでくれたことがよく分かった。お話を聞いて、今は、生まれてきてよかったと感じている。
- ・これから、進んで助け合い、もっと命に感謝したい。この思いをできたら次世代につなげていきたい。
- ・いじめで自殺をすることがニュースで放送されているので、いじめをなくせるように、見て見ぬ振りをしないようにしたい。

小学生に伝えたいこと 1/2

小学校の6年間は、成長著しく、気持ちが真っ直ぐな時期。
生命・人権尊重、男女平等、家族愛などを中心とした

「**生き方**」としての「**性教育**」が大切。

- ・ **生命の誕生・命の大切さ**
「選ばれた命」「たった一つしかない命」「みんなが待っていた」「嬉しかった」などの輝かしい言葉を子どもに伝えよう。
また、『**あなたがいてくれるから、助かる。ありがとう。**』と、感謝し合い、子ども自身が**存在感や満足感**を実感できるようにしよう。
家族でも、互いに助け合っているところを見せよう。
- ・ **日常生活の確立**
望ましい生活習慣は学力・体力・心、全てに関わる最も大切なもの。
早寝、早起き、**朝ごはん**、歯みがき、あいさつ
学校と家庭が協力して調査・指導・実践し、子どもたちの望ましい生活習慣が確立されるよう足並みをそろえて話してあげよう。



誕生の瞬間：君は愛されるために生まれた

- ・ **男女の体の違いと正しい異性観**
自分と異なる性の違いに気づかせ、さらに男女が協力することの大切さ、そして、異性に対する気持ちは、男女で差があることを感じさせよう。
また自分の性に対しても、それを受け止め、**自分を大切に思う気持ち**を育てよう。
- ・ **性情報や性被害・エイズに対する心得**
家庭でのインターネットなどの性情報には注意深くし、危険から守ろう。
また、言動・服装なども流行だけを追求しない年頃だが、そういったことで子どもの**純粋性(個性)**を見失うこともあるだろう。「好感が持てるもの」とか、「内面の美しさ」など、**親の思いや考え**を、きちんと話してあげよう。

小学校低学年のころ

- ・ **安全**
自分の身の安全を自分で守る事を**交通安全**の他、不審者への対応も含めて話してあげよう。
- ・ **男女仲良く**
みんな仲良くできることが、とても素晴らしいことだと繰り返し話そう。
- ・ **命の大切さ**
生き物を飼うこと。責任を持って世話をまかせることも、とても大切。
- ・ **お手伝い**
「危ないから」「手伝ってもらう方が時間が効かる」と言わず、できることはまかせてみよう。
- ・ **誕生・成長**
お父さんとお母さんが仲良しで大好きだから、生まれてきたこと。お風呂などで、おへそのお話などにより、親子の関係や誕生について話そう。
- ・ **体の清潔**
体を清潔にすることの大切さを、感染症予防ということも踏まえ、きちんと教えよう。

小学校高学年のころ

- ・ **人が生まれるということ**
学校では、動物や人は、卵子と精子が受精することによって、誕生するということを教える時期。
家庭でも話題になった時は、無理のない範囲で教えよう。
- ・ **家族の役割・自分の役割**
その家庭でのお父さん、お母さん、兄弟、自分の役割を確認しよう。
責任を持たせることで、自分が存在する価値を確認できるはず。
- ・ **異性への関心**
異性のこと、お互いを尊重することなどを、親の体験を交えながら話してあげよう。
- ・ **心と体の健康**
不安定な心とアンバランスな体の成長を理解し、会話を多くして、不安を取り除いてあげよう。
- ・ **エイズ**
感染経路よりも、空気感染などではうつらないことや、差別をしないことなどを教えてください。

♪君は愛されるため生まれた(Ain)

君は **愛されるため**生まれた

君の**生涯**は **愛で**満ちている。(2回)

永遠なる神の愛は 我らの

出会いの中で **実**を結ぶ。

君の**存在**が私たちに

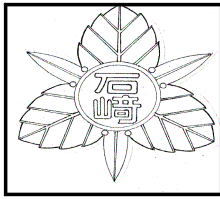
どれほど大きな **喜び**でしょう。

君は**愛されるため**生まれた

今もその愛、受けている。(2回)

赤ちゃんが
生まれたときの
喜びの気持ち

子どもたちが感動した歌



茨城町立石崎小学校
学校だより

「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年12月4日

No.28

校長 西田 弘子

授業参観、学級懇談会、ありがとうございました

11月27日は、お忙しい中、スクールバス利用説明会、授業参観、学級懇談会に参加していただき、ありがとうございました。授業参観では、子どもたちが意欲的に学習に取り組む様子をご覧いただけたことと思います。また、たくさんの保護者の方とお子様と一緒に楽しく活動する姿をうかがうことができました。ご参観くださった保護者の皆様、ありがとうございました。



統合へ向けて・・・Q&A

保護者の皆様からご質問いただきましたので、お知らせいたします。今後も何か分からないことがありましたら、お気軽に学校や担任にお問い合わせくださるよう、お願いします。

Q. 上靴について、きついので買い換えたいが、どんなものを買えばよいでしょうか。

A. 葵小では、現在長岡二小で使っている上靴（右の写真参照、写真は月星社製）を使う予定です。統合後、しばらくの間は、今、石崎小で履いている上靴を使用することができます。今のうちに、葵小学校の上靴を購入し、使用しても大丈夫です。



Q. 体操服は、複数のお店で買えるようにしてほしいのですが。

A. 町内の複数の商店で買えるようにする予定です。

販売店や販売開始の時期については、メーカーの生産準備ができ次第、お知らせします。今のところ、1月以降になる予定です。

(裏面に続く)

Q. 胸に他校の校章が刺繍された標準服を使用しても良いのでしょうか。また、すぐに小さくなってしまおうと思うのですが、何着用意すればよいのでしょうか。

A. 他校の校章が付いたものでも着用できます。標準服は、シングル・ダブルを問いませんし、量販店で比較的安く売っている物もあります。洗濯してもすぐに乾くので、とりあえず1着購入し、必要なら買い足していただければと思います。長期間着用するには、少し大きめのサイズを購入して、袖口を内側へ折り込んで縫っておくとよいと思います。

Q. 葵小学校に学童クラブはあるのでしょうか。

A. 葵小学校の敷地内に学童クラブの施設があります。対象は1年生から3年生が優先となりますが、空きがあるときには6年生まで利用することができます。平日は放課後から6時半まで、土曜日や夏休みなどは午前8時から午後6時半まで開設されます。詳しくは町の子ども課から、募集要項が1月中旬に配付になる予定です。

Q. 帰りのスクールバスを利用する際、低学年の子どもたちは高学年生が終わるまでどうしているのでしょうか。

A. 放課後スクールサポーターが配置されます。高学年生の下校を待つ間、スクールサポーターが放課後の児童の学習や読書活動等の支援を行います。

Q. バスに乗る時間ができるだけ平等になるように順路を工夫できないでしょうか

A. できるだけ、児童の乗車時間が短くて済むように、検討して経路を決めました。予算も考慮して、循環型ではなく、同じ路線を往復する直線型のルートになるため、遠くの児童は朝早く乗車し、帰りも遅い時刻に下車することになりますが、ご理解いただければと思います。

11月28日持久走大会結果速報

校内順位の3位入賞者について、お知らせします。

★1年男子

1位 栗原 涼 2位 小沼 岳龍 3位 柴沼 広翔

★1年女子

1位 島田 真樹 2位 江橋 こなみ 3位 下条 ののか

★2年男子

1位 小野 蓮斗 2位 鴨川 珀磨 3位 江橋 玄人

★2年女子

1位 林 璃々子 2位 会沢 咲那 3位 布施 琴美

★3年男子

1位 齋藤 凌空 2位 美留町 宏輝 3位 栗田 楽久

★3年女子

1位 藤枝 杷那 2位 守永 美沙 3位 坂場 桜空

★4年男子

1位 海老澤 志龍 2位 高谷 俊介 3位 青山 隼斗

★4年女子

1位 齋藤 結花里 2位 菊地 渚 3位 上田 彩花

★5年男子

1位 佐藤 光流 2位 青山 涼 3位 島田 優樹

★5年女子

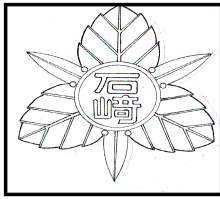
1位 堀 未沙紀 2位 藤枝 乙葉 3位 齋藤 心隠

★6年男子

1位 佐々木 和秀 2位 高谷 亮太 3位 加茂川 猛一

★6年女子

1位 海老澤 明歩 2位 永岡 友里花 3位 荒武 由美子



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年11月20日
No.27
校長 西田 弘子

マラソンを頑張っています ～3校合同持久走大会に向けて～

11月28日の3校合同による持久走大会に向けて、子どもたちは毎日校庭を走っています。毎朝登校した後、そして月・水・金の業間休みにマラソンタイムを設けて、自分のペースで頑張っています。10月の子どもたちのアンケートでは、76%の児童が毎朝走っていると答えており、毎朝の取り組みが生活のリズムの一つとなっています。

3校合同による持久走大会は、統合を前に3つの学校の児童が触れあうことを目的の一つとしていますが、まずは苦しくても頑張り抜く粘り強さと健康な身体づくりをねらいにしています。そして、自分の力を精一杯発揮して、悔いのない大会にしてほしいと思います。

大会では、3校による総合順位のほか、石崎小だけの順位も記録します。石崎小学校の1位と2位の児童にはメダルも用意しています。

大会まで残すところ1週間あまり。どの子も万全の体調で大会に臨み、達成感や満足感を味わえるようにと、思い出に残る大会にしてほしいと思います。がんばれ、石崎っ子!!!



笑顔で、チャレンジマラソンをがんばる石崎っ子

【読書集会 11月17日】

白雪姫の皆さん（藤枝安子さん他）に、カーテンシアターや影絵、大きな絵本の読み聞かせを行っていただきました。楽しい話や心に沁みる話など、読書の楽しさや醍醐味を味わうことのできたひとときでした。白雪姫の皆さん、ありがとうございました。



ちょっといい話～ちょこっとボランティア～

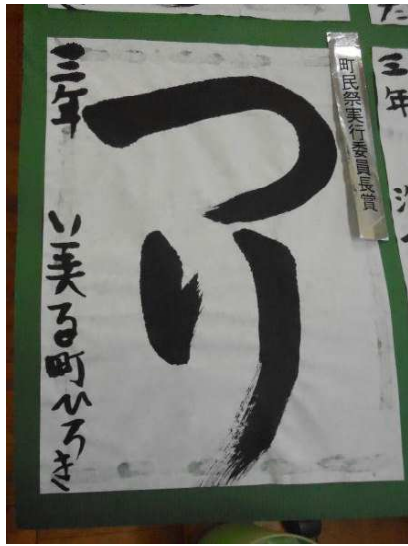
もうすぐ紅葉も終わり・・・落ち葉がたくさん出る季節となりました。校庭に広がる落ち葉・・・なかなか掃き掃除も間に合いません。すると、早く登校した数名の児童が、ほうきや熊手を手に掃き掃除を始めました。

次の日には、別の男の子達も掃き掃除をしてくれました。また、花壇の手入れをしていると、休み時間にもかかわらず進んで手伝いをしてくれる子も出てきました。

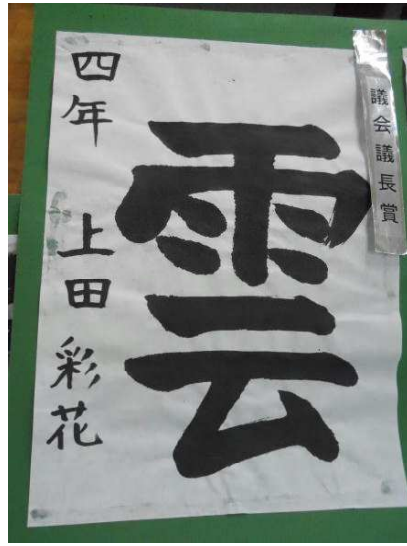
そんな素敵な場面に出会い、朝から気持ちがホッコリとなりました。



★町文化展入賞作品の紹介★



実行委員長賞：美留町ひろき



議会議長賞：上田彩花



議会議長賞：木内陽香



町長賞：栗田楽久



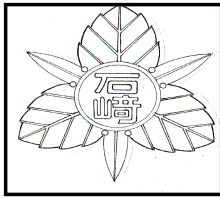
町長賞：齋藤結花里



実行委員長賞：富山陽菜



実行委員長賞：萩野谷香帆



地域の方々と共に～しらさぎ祭り～

7日のしらさぎ祭りでは、地域や保護者の皆様には大変お世話になりました。ブライトレーダーの海老澤洋寿さんには、ポン菓子を作る機械や餅つき用の杵・臼の手配の他、家族の方にもお手伝いいただいたの餅米の袋詰めなど、本当にお世話になりました。また、藤枝完二さんには、毎年恒例となっているくじ引きを今年も用意いただきました。PTAの本部役員や専門委員の方々には、前日や前々日から商品や食材、燃料、機材等を準備していただきました。

当日も、ブライトレーダーの方々やPTAの委員さんたちには、餅つきやポン菓子作り（バクダン）、赤飯・きなこ餅・豚汁・ふかし芋の準備、エッグポプリ・餅米・古本の販売などで、大変お世話になりました。地域の小野さんからは、ミニマトを使って大きな布に文字を表わした素敵なプレゼントがありました。石崎地区女性会の皆様には、茨城町音頭を演奏していただき、祭に華を添えていただきました。それにしても、ひぬ丸君の踊りが上手なのは驚きました。このほかにも、子どもたち一人一人に鉛筆やスナック菓子の差し入れなどもあり、たくさんの方々を支えられて、石崎小最後の“しらさぎ祭り”が盛大に行われました。本当にありがとうございました。



ひぬ丸くんも応援



PTAの方も大忙しです。

今回のテーマは「**みんなニコニコ 地域に感謝の しらさぎ祭り**」でした。参加された皆様には、子どもたちの感謝の気持ちは届いたでしょうか。どの子ども、日頃の感謝の気持ちを込めて、みんなが楽しめる祭りにしようと、お囃子や御輿、出店の準備や練習に熱心に取り組んできました。子どもたちからは、「友達だけでなく、地域の方やおうちの方も出店に来てくれて、みんなで楽しむことができたので、とてもうれしかったです。」という感想が聞かれました。

最後に、第3部感謝のつどいで発表した、6年生の海老澤ななみさんの“お礼のことば”を紹介したいと思います。

お礼のことば

とても楽しかったしらさぎ祭り、そして石崎小学校最後のしらさぎ祭りが間もなく終わろうとしています。

お昼に食べたお赤飯やおもち、私たちが今日のしらさぎ祭りに向けて、種から育てた稲からできたものです。みんな本当においしく食べることができました。これもブライトレーダーさんなど地域の方々のお陰です。5月の種まきや田植え、9月には稲刈りに向けたゆっつら作り、そして10月の稲刈りと、私たちに分かりやすく親切に教えていただきました。これまで、しらさぎ祭りが石崎小学校の伝統として続けてこれたのは、地域の方々やおうちの人たちの協力があったからなのだと思います。皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

今日のしらさぎ祭りは、祭りができる喜びや皆さんに感謝の気持ちをもって今まで以上に多くの人たちと交流できるように、みんなで考えて工夫しました。今日は地域の皆さんに楽しんでもらえたでしょうか。

お祭りは終わってしまいましたが、これからも地域の皆さんとのつながりを忘れずに、毎日の学校生活を大切に過ごしていきたいと思っています。いつも私たちのために様々な活動をしてくださっている地域の皆さん、本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



感謝祭だ、わっしょいわっしょい



毎日練習した成果のお披露目



楽しい出店タイム



地域でまとまってるの昼食タイム



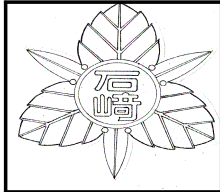
みんなで茨城町音頭。ひぬ丸君も上手



素敵なプレゼント 制作中



お世話になった方々へ感謝状の贈呈



茨城町立石崎小学校
学校だより

「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年11月6日

No.25

校長 西田 弘子

～ 最後の「しらさぎ祭り」に思いを込めて ～

テーマ「みんなニコニコ 地域に感謝のしらさぎ祭り」

～ 合い言葉は「感謝」。一人でも多くの人に楽しんでもらう しらさぎ祭り ～

いよいよ、明日は、最後のしらさぎ祭りです。これまでお世話になった感謝の気持ちを込めて、3年生以上は、各学級単位で地域の方にも楽しんでいただけるような出店を考えました。どんなお店にするのか、どのように準備を進めたらよいかを自分たちで話し合い、協力し合って準備を進めてきました。また、1年生から3年生までは、親子で作成したはっぴを着て、元気よく御神輿を担ぐことを楽しみにしています。



太鼓の練習をする6年生

— 26年目の米作り —

本校では、平成2年に当時の4年生の保護者だった海老澤洋寿さんや奥谷利一さん、海老澤正志さんなどが中心になり、正志さんから学校に隣接する田をお借りして、米作りを始めました。そのときの担任の先生が、「米作りが盛んな石崎地区に住んでいながら、米ができるまでの過程を知らない子どもたちがたくさんいる」と嘆くのを聞いて、ぜひ子どもたちに本物を体験させようということになり4年生だけで始めたのだそうです。そして、秋には、作ったお米でお餅をついて収穫をお祝いしました。

その後、PTAの本部役員や各委員会の皆さんのお手伝いをいただいて全校で取り組むようになり、平成8年には、第1回しらさぎ祭りが開かれるようになりました。子どもが大勢いた頃には、各地区毎に1日用意して、大人と子どもが一緒になって盛大に餅つきが行われたそうです。

例年は、餅は機械でついていましたが、今年は、子供用の杵と臼も準備し、餅つき体験や見学も企画されています。古きよき伝統が、いつまでも受け継がれていくことを願っています。

～ 第3部 感謝のつどい ～

今年のしらさぎ祭りでは、これまでお世話になった、地域の代表の方に感謝状の贈呈をします。

142年の歴史の中で、地域にお住まいのみなさまに、子どもたちへの声かけや見守り、賛助金へのご協力などたくさんのご支援をいただいて参りました。あと、5か月になりましたが、子どもたちの元気な声や生き生きとした姿で地域の方々に少しでも恩返しができるかと考えております。

また、地域の方の「今年が最後の年なので、長年親しんできた校歌をぜひみんなで歌い、記録に残したい」という声にお応えし、児童、教職員と保護者・地域のみなさんと一緒に校歌を歌い、閉校記念DVDに収録することにしました。

～ 校歌の歴史を振り返って ～

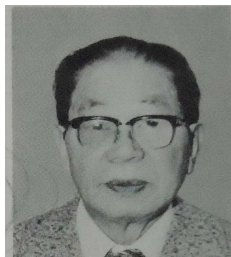
(本校の100周年記念誌から)



作詞の生田目 喜兵衛先生は、当時、石崎小学校の教員でした。

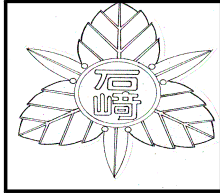
歌の構想としては、全体にやさしく、七五調にして覚えやすく、歌いやすいものにしたいと思いました。1番にこの学校の景観の美しさを、2番にこの土地柄と誇りについて、3番にこの学校に学ぶものの喜びを、ということをお腹案にしました。3番では、4月に見た満開の桜が印象的だったので、これを歌いたいと苦心しました。

作曲は、茨城大学の下野 米（たから）先生にお願いしました。



校歌を作曲することになったとき、(中略)数回にわたって広浦や筑波の見える広野原を訪ねてさまよいました。そして、私はまず歌詞の素晴らしさを感じ、子供がこれを歌うとき、一字一字をはつらつとした歌声で広野原に響かせ、かすかに浮かぶ筑波山に突き当たって行って、こだまになって返ってくるようにと念じて作りました。

昭和26年に校歌ができたとき、子どもたちも先生も「みんなが集まったときに歌える歌ができた」と、とても喜んだそうです。当時の方々やたくさんの方々の卒業生の思いを引き継いで、みんなの声を響かせ、胸に刻みたいと思います。



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年10月28日
No.23
校長 西田 弘子

～ 全力で取り組む石崎っ子のよさを発揮！！ ～

～ 町の陸上記録会で自己ベストを更新 ～

10月9日(金)に、水戸市のK's スタジアムで茨城町の陸上記録会が行われました。町から補助をいただき一流選手が使用する立派な施設で競技できることは、子どもたちにとってとても幸せなことだと思います。

当日は、雲一つないさわやかな秋空で、絶好のスポーツ日和でした。今年、4つの新記録が生まれるなどレベルの高い大会でしたが、石崎小の6年生は、自己ベストを目指して、全力で競技に臨むことができました。係員の方々や応援に駆けつけてくださった保護者の皆様、たくさんのご声援をありがとうございました。



開会式進行:佐々木



1000m 第2位 海老澤明歩



走り高跳び 第3位 佐々木和秀



← よい姿勢で開会式に臨む



ホールスロー第8位 中村恵理加



女子 400mリレー第8位
荒武由美子, 雨海みら
永岡友里花, 海老澤明歩

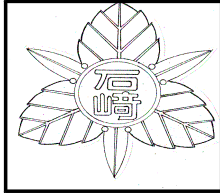


走り高跳び 第8位
阿久津 魁士



男子400mリレー代表選手

町の子どもフェスティバル 綱引きでも 見事準優勝!
「みんなで一致団結すれば、やれる」ことを実感しました



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年10月15日
No.22
校長 西田 弘子

稲刈りを行いました。

8日(木)、きれいに澄み渡った青空の下、楽しく稲刈りを体験することができました。上級生が下級生の面倒を見ながら、上手に刈り取ることができました。稲を刈るだけでなく、その後に自分たちで用意した“ゆつつら”で束にしたり、落ちていた稲穂を拾い集めたりと、どの子も一生懸命に作業していました。

コンバインを使っての脱穀は、ブライトレイダーやPTA本部役員の皆さんにお手伝いいただきました。「こうした作業を、一昔前までは全部手作業で行っていたんだよ」と子どもたちに話をすると、みんな一様に驚いていました。

30年近く続いた米作りもいよいよ大詰めです。稲刈りが終わった後、PTA会長さんが、「また来年！と言えないのが寂しいね」とおっしゃっていました。ブライトレイダーの海老澤洋寿さんには、種籾の用意や種まきに始まり、田植え、水の管理、収穫まで大変お世話になりました。今後も、収穫した籾の乾燥など、よろしくお願いします。また、ブライトレイダー(奥谷利一さん、菊地茂光さん、大山宏治さん)や本部役員、JA職員、柘原地区の高年者クラブの皆様には、様々な面でお世話になりました。収穫したお米を味わえる「しらさぎ祭り」がとても楽しみです。



コンバインを運転する海老澤さん



上級生と下級生と一緒に(ペアで)稲を刈りました



刈った後は、がんばって稲を束ねました



脱穀は大人の方にお手伝いいただきました

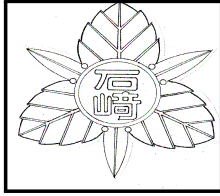
【ゆつつら作りを行いました】

9月15日(火)には、高年者クラブ柘原地区の皆様(代表:海老澤一夫さん)においでいただき、5・6年生にゆつつらの作り方を教えていただきました。子どもたちは、その手際のよい手さばきに感動。見よう見まねで、ワラ縄をなうことができました。

この週は、「なかよし週間」として、昼休みに、上級生が下級生にゆつつら作りをやさしく教えていました。稲刈り当日は、このゆつつらを使って、刈った稲を束ねました。



★しらさぎ祭り 11月7日(土)開催! 30日にPTA運営委員会を開いて、計画の打ち合わせをしました。役員の皆様には大変お世話になります。



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年10月2日
No.20
校長 西田 弘子

がんばれ6年生 町陸上記録会壮行会

24日の児童朝会で、町陸上記録会に出場する6年生に向けて、全校児童による壮行会が行われました。1～5年生による気持ちのこもったエールは、きっと6年生の心に届いたことでしょう。その後、選手紹介と出場種目の代表者による挨拶（決意表明）がありました。大切なのは、最後まであきらめず、全力を尽くすことです。6年生には、ぜひ自己記録を更新し、新しい自分史を刻んでほしいと思います。



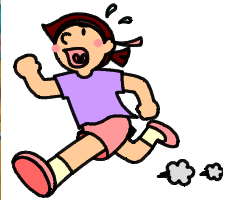
6年生入場！！



1～5年生によるエール



お礼の言葉と決意表明



引き渡し訓練へのご協力、ありがとうございました。

28日には、県の生活文化課の交通安全推進員4名を講師に招いて、不審者対応の避難訓練を実施しました。あいさつや避難の仕方がとっても上手だと褒めてくださいました。自分の身は自分で守ることの大切さを学ぶことができました。

引き続いての引き渡し訓練では、お忙しい中、保護者の皆様にもご協力をいただき、ありがとうございました。1学期には、雷雨の際に急きょ引き渡しを行いました。今後も非常時の際には引き渡しをお願いする場合があります。ご協力をよろしく願います。

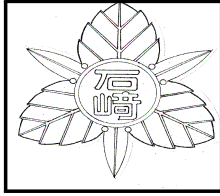


【皆様の善意に感謝します】

★26日の廃品回収では、たくさんのご協力ありがとうございました。お陰様で、一升瓶1,278本、ビール瓶957本、空き缶1,115kgなどが集まり、収益は**120,420円**になりました。今後の教育活動に活用していきたいと思ひます。



★児童会主催の常総市への義援金募集では、**27,921円**のほか、ノートや消しゴム、鉛筆、クレヨン、のりなどの文房具等、たくさん寄付をいただきました。ありがとうございました。早速、常総市教育委員会に贈りました。



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年9月17日
No.19
校長 西田 弘子

感動をありがとう・・・感謝・感激・感動の大運動会

9月12日(土)には、たくさんのご来賓、地域、保護者の方においでいただき、盛大に運動会を挙げていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

朝から、子どもたちは気合い十分でした。開会式で、来賓の方々から激励の言葉をいただくたびに、「ハイッ!!!」と大きな返事が返ってきました。もう、それだけで感動。

5・6年生の組体操では、なかなか技が決まらない友達に、「〇〇、あわてなくていいよ。」という温かい声が聞こえてきました。仲間を思う気持ちに、心が温かくなりました。

前日までほぼ毎日雨続きで、周りの人や関係者からは「練習ができず、何かと大変でしょう。」と言われたりもしましたが、だからこそ、子どもたちの底力を見ることができました。子どもたちは、自分たちで考え、足りないところは補い合いながら、協力し合うことや最後までやり遂げること、目標(優勝)に向かって仲間と共に全力を尽くすことの大切さを学ぶことができました。

保護者の皆様には、子どもたち一人一人に熱いご声援をいただき、ありがとうございました。また、閉会式終了後、たくさんの方に片付けをお手伝いいただき、本当に助かりました。今回の貴重な体験を生かして、これからも子どもたちの成長に力を尽くしていきたいと思っております。本当にお世話になりました。



紅組も白組も、力いっぱいがんばりました。



お父さん、お母さんも、子どもたちに負けないくらいがんばりました。



勇壮なソーラン節。3・4年生、とってもかっこよかったです。



とってもかわいらしい1・2年生のダンス



今年も盛り上がったパン食い競争



自分たちの勝利を信じて、気合い十分



運動会の華、組体操。さすが5・6年生

バザーへの協力、ありがとうございました

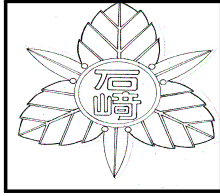
運動会終了後に行われたPTAバザーでは、お陰様で、**50,310円**のご協力がありました。子どもたちのために有効に使わせていただきます。



義援金協力のお願い

～ 今こそ考えよう、絆 ～

過日の鬼怒川堤防決壊に伴い、常総市では多数の小中学校が被災しています。石崎小学校では、児童会を中心に話し合い、義援金を送ることを決めました。28日までにとりまとめ、被災地に発送したいと考えています。ご協力をお願いします。(詳しくは児童会発行の案内文書をご覧ください。)



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年9月10日
No.18
校長 西田 弘子

雨二モ負ケズ・・・運動会の練習をがんばっています

雨が降り続く毎日・・・。ご家庭では洗濯物が乾かなかったり、農家の方も作業が進まなかったりと、思うようにいかない日が続いているのではないのでしょうか。学校でも、運動会に向けて校庭で練習することがなかなかできず、準備は遅れがちです。



でも、いつもながら、子どもたちの頑張りには勇気づけられます。体育館での練習が中心ですが、元気に歌ったり、踊ったり、失敗にくじけずにやり直したりする姿に、早くも目頭が熱くなりそうです。

明後日の本番では、子どもたちはきっと精一杯の演技を披露してくれることでしょう。校庭で練習していないため、とまどう場面もあるかとは思いますが、子どもたちが知恵を出し合い、やり抜けるようにしていきたいと思います。今は、何とか本番当日、雨も降らず、さわやかな秋の気配と共に運動会を楽しませてあげたいなあと願うばかりです。

保護者の皆様も、頑張る子どもたち一人一人に熱い声援をお願いします。また、「おむすびころりん(大玉送り)」や「みんなでパンだ(パン食い競争)」への積極的なご参加をお願いします。アンパンも昨年より多く注文してありますので、石崎小に来られた全ての方とともに楽しめるとよいと考えています。明後日の運動会、どうぞよろしくお願いします。



奉仕作業、ありがとうございました

5日(土)には、4回目のPTA奉仕作業を実施しました。今回は、先月の奉仕作業でできなかったところを中心に行いました。これで、運動会に向けて素晴らしい環境が整いました。それにしましても、今週はほとんど雨で除草作業ができず、それだけに奉仕作業がどれほどありがたかったか、雨空を見上げながら実感しています。



5月から4回実施した奉仕作業は今回で終了となりますが、これまでご参加いただいたすべての保護者の皆様に、改めまして感謝申し上げます。本当にお世話になりました。

【2学期始業式での学校長の話】

長い夏休みを無事に終えて、みなさんが元気に新学期を迎えられたことを心からうれしく思います。

この夏休みの皆さんの様子を見ていて、感動したことがたくさんありました。そのうちの2つをお話ししたいと思います。

1つ目は、学びの広場に参加した皆さんが、自分の苦手なことを頑張ったことです。3年生から6年生の中には、今まで計算がすらすらできなくて、辛い思いをした人もいたと思います。しかし、5日間根気よく学習してできるようになった顔は、笑顔と自信にあふれていました。その様子を見て、先生は、とてもうれしかったです。

2つ目は、町のドッジボール大会のことです。石崎小学校を代表して「石崎ファイナル」チームと「石崎です」チームが参加しましたが、開会式ではあいさつがしっかりでき、1試合目は緊張して力が出せなかったものの、2試合目からは全力で試合に臨むことができました。チームの中には、ボールが怖いなどドッジボールが好きでない子もいたと思いますが、それを乗り越えて、仲間と励まし合って力を合わせ、精一杯頑張っている姿に、他のどの学校にも負けないうまくまじと、すがすがしきを感じました。

さて、今日から2学期です。先生から2学期に頑張ってもらいたいことを2つお話しします。

1つ目は、「仲間と力を合わせてあきらめずにやり抜く」ことです。

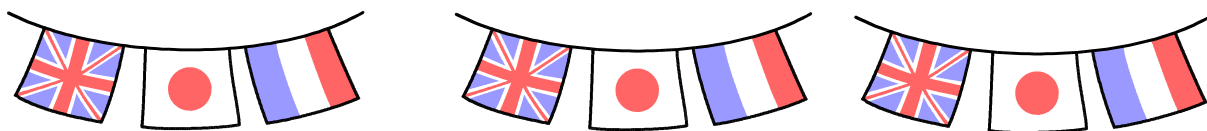
これから皆さんが伸びるためには、持って生まれた能力以上に「やり抜く力」が大切だといわれています。何かをできるようにするためには、うまくいなくても、苦しくても粘り強く何度でも繰り返し挑戦することが必要です。そうして何度も失敗から立ち上がる度に皆さんはたくさんのお話を学ぶのです。

2つ目は、「自分たちで考え、進んで行動する」ことです。

おうちの人や先生に言われてからやるのではなく、自分たちでどうしたらよいか考え、判断し、今まで以上にいいと思ったことは進んで行動できるようになって欲しいと思います。

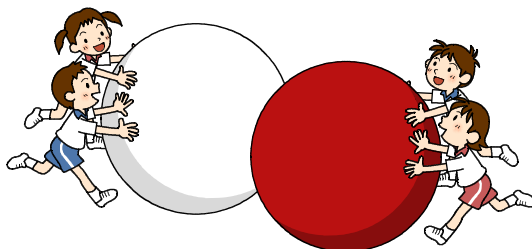
2学期は、運動会やしらさぎ祭りマラソン大会などの大きな行事がありますが、学級や縦割り班、委員会などそれぞれの仲間と目標をしっかりとって、自分たちで工夫し、最後までやり遂げる経験をたくさんして欲しいと思っています。

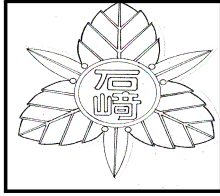
この2つの目標を意識して、みんなの力で、今まで以上にすばらしい石崎小を作り上げることを期待しています。



明後日の運動会では、グランドの状況によって、当日の朝、グランドの水を吸い取ったり、砂を入れて滑りにくくするなどの作業をすることになると思いますが、可能な方はお手伝いを願います。

石崎小最後の運動会を、児童、保護者、教職員が一丸となって成功させたいと思います。ご協力をお願いいたします。





茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年9月4日
No.17
校長 西田 弘子

石崎小は多くの方々に支えられています

ご協力、ありがとうございました



夏休み中の8月2日には、職工組合の奉仕作業がありました。うだるような暑さの中、職工組合の方々に来ていただき、それぞれの専門技術を生かして作業をしていただきました。新たに制作していただいた平均台は脚のないタイプで、落ちる心配がないため、恐怖感をもたずにバランス感覚を養うことができるものです。また、児童用のトイレの床には、スリッパを揃えるための足型を作っていただきました。塗料が剥がれる心配があったため、後日、シールも作って届けてくださいました。さらには、1・2年生の教室や保健室の重たいドアが、スムーズに動くように修繕していただきました。これから、大事に使わせていただきます。ありがとうございました。



8月28日には、石崎地区女性会（中石崎、柘原、船渡、前原）の皆様が、小雨の降る中、ツツジの植え込みの中に茂るヤブガラシやクズ、篠などを取り除く作業をしてくださいました。運動会を前に、校庭がまたきれいに整いました。ありがとうございました。

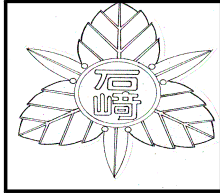
5日には、PTA奉仕作業も予定されています。こうしたたくさんの方々のご厚意によって石崎小は成り立っています。子どもたちには、こうした援助や奉仕によって学校生活の充実が図られていることをきちんと伝え、感謝の心をもつとともに、社会のために役立つことを進んで行える子に育てていきたいと思ひます。

2学期も保護者の方々のご協力をお願いします。（主な行事予定）

- ★9月12日（土）運動会
- ★9月17日（木）5年校外学習（鹿島方面）
- ★9月25日（金）町陸上記録会
- ★9月26日（土）廃品回収
- ★9月28日（月）避難訓練（引き渡し訓練）
- ★9月30日（水）4年社会科見学（浄水場他）
- ★10月2日（金）稲刈り体験
- ★10月6日（火）3年社会科見学
- ★10月11日（日）町こどもフェスティバル

- ★10月14日（水）4年校外学習（坂東市方面）
- ★11月7日（土）しらさぎ祭り
- ★11月18日（水）5年社会科見学（NHK・歴史館）
- ★11月19日（木）1・2年校外学習（潤沼自然公園）
- ★11月27日（金）授業参観・懇談会
- ★11月28日（土）三校合同持久走大会
潤沼自然公園まで送迎のご協力をお願いします。
- ★12月24日（木）終業式（お弁当）

※日程は変更になる場合があります。ご了承ください。



茨城町立石崎小学校
 学校だより
 「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年9月1日
 No.16
 校長 西田 弘子

2学期が力強くスタート

いよいよ2学期がスタートしました。子どもたちは、ひと夏を終えて、また一段とたくましくなったように見受けられます。それぞれが楽しい思い出を胸に、この2学期を充実したものにしてもらえればと思います。

始業式では、学校長から、この2学期に特になんがばってほしいこととして、**みんなで力を合わせて最後までやり抜くことの大切さ**についての話がありました。運動会や校外学習、しらさぎ祭り、持久走大会、陸上記録会、等々、たくさんの行事が予定されている2学期、上記の3つを心にとどめ、優しさと思いやりにあふれた石崎っ子の良さをさらに発揮してもらいたいと思います。



代表児童による発表（2学期の目標）



代表児童の発表を真剣な表情で聞く児童たち

PTA親子奉仕作業 ありがとうございました

8月22日には、たくさんの保護者の方々に奉仕作業に参加していただき、ありがとうございました。お陰様で、校庭や花壇、学校田がいつものきれいな状態に戻りました。花壇のきれいな花々が、2学期も子どもたちの目と心を和ませてくれることでしょう。

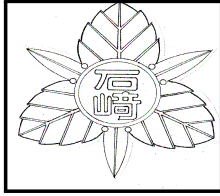


☆7月に実施した学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果を裏面に掲載しました。自由記載欄へのご意見は次号でお知らせします。

地域との防災訓練を実施しました

8月22日に実施した防災訓練には、町消防署や役場の方々にもご協力をいただいて、AED体験や消火訓練、防災倉庫見学、非常食試食など、貴重な体験をすることができました。地域の防災拠点として、石崎小学校の大切さを再確認することができました。ご参加いただいた地域の皆様、保護者の方々、ありがとうございました。





茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年7月17日
No.15
校長 西田 弘子

地域の方々・保護者の皆様 ありがとうございました

地域の方々、保護者の皆様、1学期間、本当にお世話になりました。お陰様で、本日、1学期が無事終了しました。その間、子どもたちは、大きな事故やけがもなく、学習や生活に意欲的に取り組むことができました。田植えや校外学習を始めとする様々な行事は、子どもたちにとって、大きな成長を促す貴重な体験になったことと思います。これも、皆様のご理解・ご協力があったことと、あらためて厚く御礼申し上げます。

さて、いよいよ夏休み。子どもたちの行動力、自己管理の力が試される時です。1学期に引き続きまして、子どもたちが規則正しい生活を送り、計画的に夏休みの課題に取り組めるよう、そして健康で安全に過ごせるよう、また、地域の行事や活動に積極的に参加するよう、声かけ・見守りをお願いいたします。併せまして、学びの広場や地域との防災訓練、PTA奉仕作業等へのご協力もよろしくお願いいたします。



終業式① 代表児童による発表



終業式② 元気に校歌を歌う児童たち

PTA親子奉仕作業 ありがとうございました

5月17日、7月5日と2度のPTA奉仕作業では、たくさんの保護者の方々や児童に参加していただき、ありがとうございました。お陰様で、校庭や花壇はいつもきれいな状態で、子どもたちや来校される方の目や心を和ませています。先日も、本校を訪れた方々に、きれいになった花壇を褒めていただきました。今後ともご協力をよろしくお願い致します。



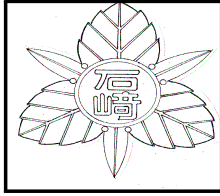
情報モラル講習会を実施しました

7月15日に、メディア教育指導員の鈴木慶子先生をお招きして、情報モラルについての講習会を実施しました。インターネットの快適さや便利さの背後に潜む危険性について、実例を元に分かりやすく講演していただきました。フィルタリングや使用する時の家庭のルールづくりの大切さを学びました。



【こんなルールは守りにくい】(講習会から)

- 危ないサイトは見ない
→「危ないサイト」だと気づかないこともある
- ゲームはなるべくやらない
→「なるべく」ってどのくらい？
- 必要なときだけ使う
→「必要なとき」は人によってちがう



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年7月10日
No.14
校長 西田 弘子

授業参観・学期末懇談会 ありがとうございました

7月2日(木)の授業参観・学期末懇談会には、お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

子どもたちは、普段通り、集中して授業に取り組むことができていました。かわいらしい1・2年生、元気はつらつな3・4年生、大人びた行動が見られるようになってきた5・6年生と、それぞれの学年がその発達段階に応じて個性を發揮していたように思います。

「いしざきっ子」の一番の良さは、素直さと思いやりだと思います。授業中の様子からも、それを感じることができました。これからも、子どもたちの良さを認め、励ましながら、優しさあふれる石崎小学校にしていきたいと思います。



3年生：図工の様子



5年生：道徳の様子

学校関係者評価委員会を実施しました

授業参観と並行して、第1回学校関係者評価委員会を行いました。この委員会は、保護者や地域の方など、学校に関係する方々が、学校と一緒に子どもを考える、それぞれの立場から意見を出し合うことで、よりよい学校を作るために設けられたものです。委員の皆様、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

【懇談から】(抜粋)

- ・パソコンや電子黒板で学習していることに、驚いた。しかし、安易に解答を求めすぎることが懸念される。じっくり考えることや本で調べることも必要である。
- ・失敗体験が少ない。うまくいかなかったこと自体が発見である。たくさん体験させてほしい。
- ・猫背になっている児童が気になる。
- ・校歌は一生忘れないものである。地域の人も含めてみんなで校歌を歌い、録音してはどうか。

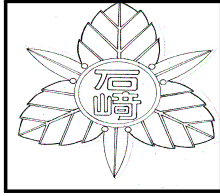
【学校関係者評価委員】

大和道久(学校評議員)、磯崎智弘(学校評議員)
飯田照夫(学校評議員)、栗原清美(学校評議員)
坂場恵子(学校評議員)、美留町清(交通パトロール)
海老澤洋寿(フライトリーダー)、海老澤信子(石崎地区女性会会長)
河西健二(P.T.A.会長)、石崎浩(P.T.A.後援会長)
上田真澄(P.T.A.副会長) (敬称略)



【お知らせ】

- 7/2の蚊の大量発生では、ご心配をおかけしました。各教室への電子蚊取り器や防虫スプレーの配備、消毒等によって、通常の状態に戻りました。引き続き、注意していきたいと思っております。
- 8月22日の午前中、保護者・地域との防災訓練を予定しています。(7/2付配布案内を参照)防災食の試食、非常用トイレの見学なども計画していますので、ぜひご参加下さい。



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年7月2日
No.12
校長 西田 弘子

～ 美しい歌声が会場いっぱいに広がり、感動を与えました ～

石崎小学校として最後の「音楽のつどい」に、3・4・5年生が参加

6月26日（金）に、小美玉市小川文化センター「アピオス」で茨城町児童生徒音楽のつどいが開催され、本校の3・4・5年生全員が出演し、合唱を披露しました。プログラムの1番目だったので、開会前から緊張していましたが、これまで練習を積み重ねてきた自信と高木先生手作りのお守りや学校に残っている1・2・6年生や先生の応援の気持ちに支えられ、見事に美しい声を披露することができました。

出場した児童は、5月の連休明けから2ヶ月間、昼休みや放課後の練習を毎日続けてきました。ときには遊びたい気持ちを我慢したり、練習が苦痛になったこともあったと思います。しかし、そんな気持ちを乗り越え、みんなで石崎小の最後の年を立派に飾りたいという強い思いを持って練習に取り組んできました。



ステージの上で歌う児童の表情は、笑顔がいっぱいで仲間と共に歌う喜びにあふれていてとても楽しそうでした。また、この練習を通して、みんなで力を合わせて一つのものを作り上げる喜びや、やり遂げた充実感・達成感を味わうことができました。

<講師の先生のコメント>

講師 大洗町立大洗小学校長 船生 佳子 先生

◇「南風によって」

頭声の美しい発声が心にすっとしみこんできました。音の伸ばしの処理がとてもいいので、フレーズ感が大切にされているところもよいと思います。二部に分かれたところの音程もよく、すてきな合唱になっていました。

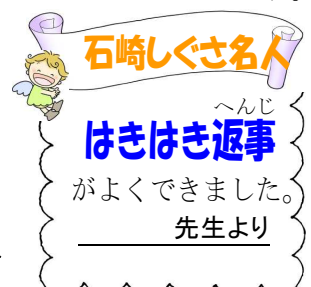
◇「この星に生まれて」

1つ1つの言葉を大切に歌っていますね。「つよくつよく」の表現の仕方が効果的でした。全体的にとっても美しい響きですばらしい。欲を言えば、さらに強弱の表現の工夫をもう少し取り入れてみてください。みなさんならまだまだ表現できるはず。

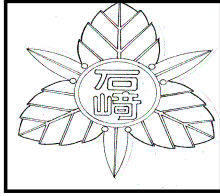
二人の伴奏者、よく練習しましたね。すてきな演奏でした。

合唱では、1人の歌声が重要な役割を果たします。つまり、一人一人が大切な存在なのです。1人の声は小さくても心をつなげて重ね合い響き合わせることで、大きな大きな感動を与える曲を創りあげることができます。この経験を生かして、11月のしらさぎ祭りや3月の閉校記念式典でも石崎っ子の絆を強め、すばらしい歌声を披露できるように頑張っていきたいと思います。

みんなのきらり 開会式の来賓あいさつのときに、「頑張ってください」の言葉に、元気よく全員が「はい」と応えることができました。「はきはき返事」ができる姿を他校の皆さんに示すことができました。



「石崎ぐさ」の名人カードや「きらりカード」でよい行いを賞賛しています。 ➡



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年6月25日
No.11
校長 西田 弘子

6年校外学習：キッザニア東京・国会議事堂

～ 一人一人が主体的に行動できました ～

6月11日（木）に行われた6年生の校外学習。今年のテーマは「自分で判断し、主体的に行動する」でした。

本校の児童は、環境の変化や初めての場面に出会うと、物怖じしてなかなか取り組めなかったり、臨機応変に判断したりすることが苦手な傾向があります。そこで、今年のキッザニアでは、グループではなく、基本的には一人一人が自分の考えで体験したい職業を選んで活動することにしました。キッザニア東京では、航空会社やピザのお店、病院など約90ものパビリオンで仕事を体験することができます。しかし、人気があるコーナーは待ち時間が長い上、「予約できるのは1つだけ」という制限もあるので、効率よく体験するには自分でその場の状況に合わせて判断し、行動することが求められます。

まず、全体をぐるりと一周してから選ぶ子や「これだけは必ずやりたい」と思うところに真っ先に駆けつけてじっくり待つ子、要領よく待ち時間の間に別の体験をする子など、それぞれ取り組み方は違っていました。時間が経つにつれて選び方が上手になり、誰もが4、5個の体験をすることができました。



乳酸菌飲料の研究者



ソフトクリーム作り



マジシャン体験



コーラのボトル詰め



他校の児童とパトロール

石崎っ子は、引っ込み思案だとよく言われるのですが、今年の6年生は、時計台の上で踊ったり、テレビ番組やコマーシャルに出演したりするなど、積極的に行動できて嬉しい驚きでした。

子どもたちも自分で選択して行動し、たくさんの職業を体験できたので、一層充実感を味わうことができました。また、この体験を経て、自分になりたい職業について具体的に考えることができるようになりました。

政治の中枢：国会議事堂 衆議院本会議場へ

連日、国会の話題がニュースで報道されている時期で、国会内にも記者が大勢いました。「委員会も開かれていますので静かに移動してください」という指示を受けながら赤い絨毯を踏み、議事堂内を見学しました。タイミングよく、本会議場内に座って説明を聞くことができました。

これからニュースで国会が話題になる度に、見学したことを思い出し、興味を持って耳を傾けることでしょう。



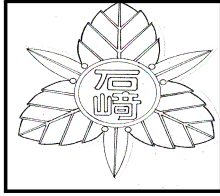
入場前にパンフレットで予習を



見学の少し前まで衆議院本会議が開かれていました。



傍聴席に座って少し緊張しました



茨城町立石崎小学校
学校だより
「自信と活力、つなげる未来」

絆

平成27年6月24日
No.10
校長 西田 弘子

校外学習で「石崎っ子」のよさが、きらりと光っています

5月から6月にかけて、1・2年生の校外学習や5年生の宿泊学習、3年生や6年生の校外学習が続いて実施されました。どの活動でも、あいさつがしっかりでき、男女が仲良く協力し合う「石崎っ子」のよさを発揮することができました。

<1・2年の校外学習：アクアワールド大洗> 2年生がお兄さん・お姉さんぶりを発揮！

アクアワールド大洗の見学では、えさを食べるラッコの様子を観察している場面で、後ろの子が背伸びをしながら「見えな～い！」と声を上げると、前で見えていた子が「僕は、もう見たからいいよ。代わってあげるよ」と優しく声をかけ、譲っていました。お弁当を食べるときや後片付けのときにも2年生が1年生に声をかけ、お手伝いしながら笑顔で活動していました。イルカやアシカの演技に素直に感動し、「かわいい！」と歓声を上げる顔はきらきら輝いていました。



<5年生の宿泊学習：県立西山研修所> 男女が協力して一層絆を深めました

5年生の宿泊学習では、男女が仲良く積極的に活動する姿が見られました。ウォークラリーは、チームで一枚の地図を見ながらコースを歩き、コース上にある問題を協力して解いてゴールを目指す競技ですが、男女の別なくチーム全員が仲良く手をつないでゴールする姿が見られました。他のチームのゴールを待つ間も、男女で仲良く「はないちもんめ」をしたり、キャンプファイヤーの出し物を練習したりするなど、生き生きと活動していました。



1位でゴール 息もぴったり



みんなで楽しくダンス

「はないちもんめ」で歓声を上げる



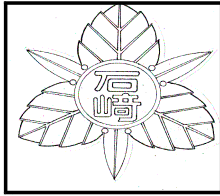
協力して「けんちんうどん」づくり



一緒に寝て、食を共にして
絆が一層深まりました



「来たときよりもきれいに」
これも石崎っ子のすばらしさ



茨城町立石崎小学校
学校だより
茨城町中石崎527

絆

平成27年6月19日
NO.9
校長 西田 弘子

除草作業 ～ありがとうございました～



6月10日(水)に、新興地区の女性会の方々が、学校農園の除草をしてくださいました。お陰様で、学校の畑が見違えるほどきれいになりました。

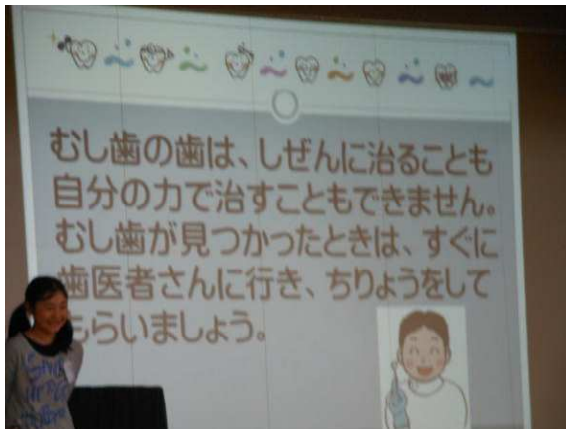
作業の合間に、かつての石崎小学校の様子(二宮金次郎の像は今と違うところに建っていたことなど)や戦時中の学校生活の様子、新興地区が開拓された当時の様子等々、貴重なお話をうかがうことができました。そして、地域の方々がどれほど地元を愛されているか、石崎小学校にどれほど愛着を持たれているかがよく分かりました。



話をうかがって、私たちは心に決めました・・・
・・・これほど地元から愛され、閉校を惜しんでくれる学校や地域への恩返し・・・それは、子どもたちが統合後も石崎小を誇りに堂々と生きていけるように、自分の力で考え、自分の足で歩むことができるたくましい子どもたちを育てることです。そして、校舎をきれいに磨き上げ、校庭をかわいらしい花々で飾り付け、3月には最高の状態で閉校式を迎えたいと思います。それが、142年で歴史の幕を閉じる石崎小の意気地です。

★全校朝会で「歯の衛生」について学びました★

虫歯になってしまうとどうなるのか、予防するにはどうすればいいのか、クイズ形式で楽しみながら学習しました。企画・運営した保健委員会を中心に、楽しく学ぶことができました。その日の歯磨きは、とても上手にできました。



【お知らせ】

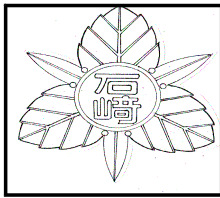
★7月2日(木)は、1学期末授業参観及び学級懇談会を予定しています。13:55～14:40 授業参観、14:50～15:50 学級懇談会となっています。また、PTA教養委員会や学校関係者評価委員会等も予定されています。お忙しい中とは思いますが、ご出席よろしくお願ひします。

【石崎ちょこっとメモ】

石崎小学校児童数の推移を調べてみました。

明治	6年	: 74名
大正	8年	: 249名
昭和	9年	: 700名
昭和	26年	: 834名
昭和	50年	: 435名
昭和	53年	: 338名 (広浦小分離)
昭和	60年	: 330名
平成	元年	: 336名
平成	5年	: 295名 (上石崎分校閉校)
平成	10年	: 247名
平成	20年	: 189名 (初めて200名を下回る)
平成	25年	: 151名
平成	26年	: 135名
平成	27年	: 107名

◆団塊の世代をピークに、年々減少していることが分かりました。



茨城町立石崎小学校
学校だより
茨城町中石崎527

絆

平成27年6月10日
NO.8(田植え特集号)
校長 西田 弘子

田植え体験 ～楽しさの先にあるもの～

6月5日(金)に、石崎小恒例の田植え体験を行いました。聞けば、この行事は30年以上も続くとのこと、親子二代にわたって体験された方もいらっしゃると思います。今年度が最後かと思うと、感慨深いものがあります。

当日は、ブライトレーダーの海老澤洋寿さんや奥谷利一さん、中田秀光さん、大山宏治さんに講師として指導していただきました。また、PTA本部役員の皆様にもお手伝いいただきながら、子どもたちみんなが貴重な体験をすることができました。

約1反歩(約1000㎡)の田んぼを、機械の力を借りずに、子どもたち自身の手で植えたということがすばらしいと思います。このように本格的な田植えの経験をできる学校は、県内にもそれほど多くはないと思います。

田んぼに入った瞬間、歓声が上がりました。子どもたちは泥遊びが大好き。田んぼに入るだけで、自然と笑顔がこぼれていました。田植えは、ペア学年で同時に行いました。上学年の児童が下学年にやさしく教えている姿はほほえましいものでした。田んぼから上がった後、水道で下学年生の手足の泥を洗い落としてあげている姿からは、「石崎っ子」の面倒見の良さや優しさを感じました。



元気いっぱい3・5年生



なかよく植えた2・4年生



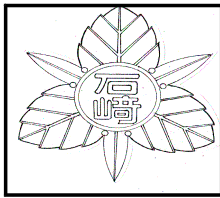
1年生を優しくリードする6年生

しかし、どれだけがんばったとしても、そこは子どもの仕業・・・子どもたちが教室へ帰った後、植え足りないところや植え方が雑になっているところを、ブライトレーダーやPTAの皆さんがそっと直してくれました。どうもありがとうございました。



ブライトレーダーの海老澤さんから子どもたちに質問がありました。「この田んぼの水は、どこから引いているのでしょうか。」

答えは、「那珂川」です。水戸市の北部、渡里からはるばる引いているのだそうです。海老澤さんが子どもの頃はまだ水が引かれておらず、この辺りはキノコが採れる林だったとのことでした。木を切り倒し、土地を平らに耕し、石を取り除いて、水が漏れないように土質を変えていく・・・楽しいだけでなく、この機会にそうした先人の苦勞にも思いをはせられるようにしていきたいと思います。



茨城町立石崎小学校
学校だより
茨城町中石崎527

絆

平成27年5月28日
NO.7
校長 西田 弘子

交通安全教室、～交通事故ゼロを目指して～

5月20日の交通安全教室では、茨城県警や町交通安全協会、町みどり環境課の方々を講師にお招きして、正しい自転車の乗り方や安全確認の仕方、横断歩道の渡り方などについて学習しました。どの子どもも真剣に取り組み、交通安全の大切さを改めて知る、とても有意義な時間となりました。

また、PTAの方々へは、立哨の仕方を教えていただきました。子どもたちが自分で自分の身を守ることができるように、“立哨時にあまり手をかけ過ぎないこと”，そして“子どもたちの自発的な安全行動を促すこと”が大事だとの貴重なお話をうかがうことができました。

さて、交通安全教室を終えた子どもたちの、その後の登下校の様子はどうでしょうか。下校の時に、集団がばらばらになってしまったり、一人になってしまう、あるいは下校途中に自転車で転倒し、帰宅が遅くなってしまうなど、保護者の方が心配しているという話を時々耳にします。

現在、音楽のつどいの練習があるため、児童は3つの時間帯に下校しています。学校でも、毎日安全パトロールを行っていますが、授業があるため、限られた職員数ですべての地区を巡視することはできません。今後も、児童の安全確保のため、より一層、地域の方や保護者の方々のご協力をいただけますよう、よろしく申し上げます。



石崎小はいろいろな方に支えられています。

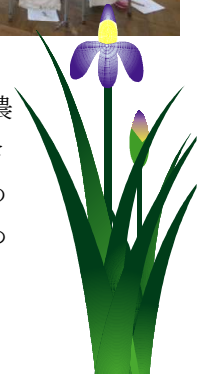
～4年環境学習、3年芋苗植え～

21日（木）には、4年生が、ブライトリーダーの藤枝完二さんを講師に迎え、環境学習を行いました。地域（特に涸沼）に棲む野鳥などについて、詳しく紹介していただきました。郷土愛を育てるためには、地域の自然や歴史、文化を知って愛着を持つことが大切だと思います。講義を終えた後、藤枝さんの「教えるためには、その10倍勉強しないとイケない。」という言葉が印象的でした。

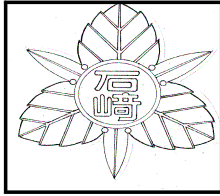


22日（金）には、3年生が、JA水戸の営農相談員である齋藤幸一さんに指導していただきながら、さつま芋の苗植えを行いました。始めは慣れない手つきの3年生でしたが、コツをつかむと手際よく苗を植えることができました。

できた芋は秋に予定している「しらさぎ祭り」で使用する予定です。



6月5日（金）に、全校で田植えを行う予定です。場所は、いつもの学校田です。3・5年生が8：45～9：30、1・6年生が9：35～10：20、2・4年生が10：40～11：25です。お手伝いいただける方は、ぜひお願いします。雨天の場合は、8日（月）になります。



茨城町立石崎小学校
学校だより
茨城町中石崎527

絆

平成27年5月18日
NO.6
校長 西田 弘子

全校朝会。～石崎しぐさを話題に～

5月11日に、今年度最初の全校朝会を行いました。どの学年の子どもたちも、きちんとした態度で、会に臨むことができました。全校朝会では、学校長から、『石崎しぐさ』についての話がありました。『石崎しぐさ』は、お互いに気持ちよく集団生活を送る基盤となるものです。学校長が、「みなさん、石崎しぐさを言ってみましょう。」と呼びかけると、多くの子が『石崎しぐさ』を暗唱することができました。1年生やまだ覚えていない子は早く覚え

石崎しぐさ

ここにこあいさつ	はきはき返事
もくもく清掃	目と心で聞く
くつをそろえる	右側一列、静かに歩く
あったかことば	ちょっとボランティア

て、明るく優しい“石崎っこ”の仲間入りをしてほしいと思います。

全校朝会では、右の写真のように、どの子も目と心で話を聞くことができました。これこそが、“石崎しぐさ”です。また、毎朝、花壇の花に水やりをしている子がいます。これは、「ちょっとボランティア」に当たります。これもまた“石崎しぐさ”です。これからも、たくさんの“石崎しぐさ”の名人をお知らせしていきたいと思います。



種まきを行いました。

～みんなで、もち米を作ります～

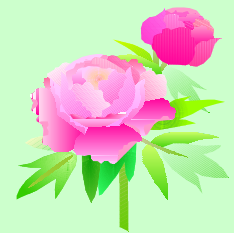
4月30日、全校児童を代表して5年生が稲の種まきをしました。ブライトレーダーの海老澤樹洋寿さんや中田秀光さん、JA水戸営農相談員の齋藤さん、PTA本部役員さんに種まきの仕方を教えていただいたり、お手伝いいただいたりして、全校分の苗床を作ることができました。今後は、6月上旬の田植えに向けて、海老澤さんが苗の世話をしてくださいます。石崎小の子どもたちは、地域の方々に支えられて、貴重な経験ができるという、とても恵まれた環境にあります。改めまして、感謝申し上げます。



【ブライトレーダー】

今年1年間、様々な学習の場でお世話になるブライトレーダーの皆様を紹介します。

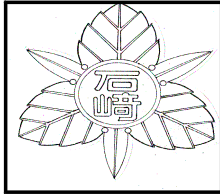
海老澤 洋寿さん
菊地 茂光さん
奥谷 利一さん
藤枝 完二さん
中田 秀光さん
大山 宏治さん
青木 いづみさん
藤枝 安子さん



どうぞよろしくお願いいたします。

熱中症にご注意

台風6号が過ぎ去ってから、急に暑い日が続くようになりました。急な気温の上昇に身体が慣れないうちは、熱中症が心配です。学校では、こまめな水分補給と休憩をとるように指導しています。ご家庭でも、お子様はもちろんのこと、保護者の皆様もどうぞご自愛ください。



茨城町立石崎小学校
学校だより
茨城町中石崎527

絆

平成27年5月12日
NO.5
校長 西田 弘子

初夏、さわやかな風とともに

連休明けの子どもたちは、少々“お疲れ”モード。朝のあいさつも、心なしか、いつもより小さいような……。でも、街は若葉萌ゆる季節。空は青く澄み渡り、田植えが終わった田圃の上を吹き渡る風はさわやかそのものです。子どもたちも私たちも、元気を出して生活に学習に取り組んでいきたいと思えます。

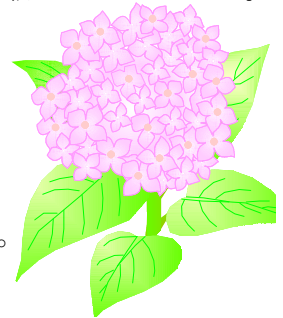
さて、毎朝立哨をしていて感じた、さわやかな一コマを紹介します。正門を渡る横断歩道には信号機が設置されていません。でも、子どもたちが渡ろうとすると、通過する車のほとんどが止まってくれるのです。ありがたいことです。そして、横断歩道を渡り終えた子どもたちは、車に向かってお礼のあいさつをします。班長さんがお辞儀をするので、下級生もそれを見習ってお辞儀しま



す。心がホッコリする、さわやかな朝の一コマでした。



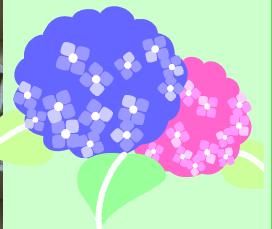
※ 毎朝、安全パトロールしてくださる地域の方、立哨してくださる保護者の方、ありがとうございます。お陰様で、子どもたちは、事故もなく、毎日安全に登校できています。

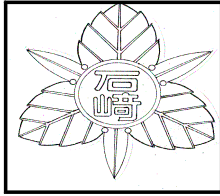


靴が揃うと、心も揃います ~石崎しぐさ「くつをそろえる」~

靴箱を見ると、その子の様子が何となく分かります。かかとがきちんと揃ったしっかり屋さん、靴が逆さまだったり“バナナ履き”だったりするあわてんぼさん、とりあえず決められた場所に入れるだけのほのぼのさん……。

先日、昇降口を歩いていると、クラス全員の靴がきちんと揃っている靴箱が目に入ってきました。それは、とても気持ちの良いものでした。靴が揃うと、クラスみんなの心が揃うようになります。“たかが靴箱、されど靴箱”と言われる所以です。





茨城町立石崎小学校
学校だより
茨城町中石崎527

絆

平成27年5月1日
NO.4
校長 西田 弘子

避難訓練、実施しました 4/16

大きな地震が発生し、1階の湯沸かし室から出火したことを想定して、避難訓練を行いました。「火の勢いが強く、燃え広がる恐れがあります。先生の指示に従って避難場所に避難してください。」緊急放送が流れると、子どもたちは、「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」の約束を守って、避難場所である校庭の砂場を目指して避難を始めました。

全員が避難を完了するまで、3分10秒……。素早い行動だったと思います。いざというときに無事に避難できるかどうかは、普段から災害を想定し、どれだけ真剣に訓練を行っているかにかかっています。子どもたちが真剣に訓練に取り組んだことは、反省のときに書いた文章からも分かります。そのいくつかを紹介します。

- 命は大切だと思った。
- 本当だったら死んでしまうので、本番だと思ってやった。
- やると分かっていたけど、ちょっと驚いた。
- 本当に地震や火事が起きたときは、今日のようにすばやく避難したい。
- 前の学年のときより、きちんとできた。
- （煙を吸い込まないように）ハンカチの用意を忘れないようにしたい。

避難誘導した先生たちからも、「私語が少なく、上手に避難できていました」という声が聞かれました。子どもたちには、普段の生活においても、いつ災害が起きても無事に避難できるよう、常に危機意識をもって行動してほしいと思います。

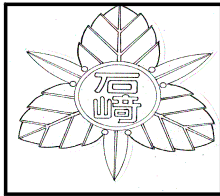
次回は、不審者の侵入を想定して9月下旬に行う予定です。



毎朝がんばっています 石崎小さわやか朝マラソン

毎朝、登校後に教室にランドセルやヘルメットを置いた後、紅白帽子をかぶった元気な“いしざきっ子”が校庭に飛び出てきます。マラソンタイムの始まりです。“最低1周は走りましょう”を合い言葉にしていますが、子どもたちはもっとたくさん走っています。どの子も元気いっぱい、笑顔もいっぱい。明るい生活の源は、健康な身体です。下の画像から、「言われて走る」のではなく、「自ら進んで走っている」様子が伝わるでしょうか。1年後には、きっと今よりもっとたくましい子どもたちに成長していることでしょう。





茨城町立石崎小学校
学校だより
茨城町中石崎527

絆

平成27年4月24日
NO.3
校長 西田 弘子

授業参観・PTA総会・専門委員会、お世話になりました4/18

18日は、お忙しい中をたくさんの方においでいただき、ありがとうございました。おうちの方には、お子様の学習の様子はどのように写ったことでしょうか。いつも通り落ち着いて学習に取り組んでいた子、おうちの方が見えていつも以上に張り切っていた子、恥ずかしくて発表の音が小さくなってしまった子など、その子によって頑張り方に違いはありましたが、どのクラスも真剣に学習に取り組んでいる様子を感じていただけたかと思います。子どもたちは、お父さんやお母さんに褒められるのが大好きです。これからも、授業参観に限らず、いつでも学校に足を向けていただき、子どもたちの様子をご覧になってたくさん褒めていただければと思います。



グループで話し合う3年生



元気に「ロンドンばし」を歌う2年生



落ち着いて学習に取り組む4年生

PTA総会では、26年度事業や決算の報告、27年度事業計画や予算案の審議、新役員の改選と承認、感謝状や記念品の贈呈などが行われました。また、閉校・統合に向けて、PTAの残金についてはすべて統廃合経費に充てることなどが確認されました。旧役員の皆様、本当にお世話になりました。新役員の皆様、石崎小のグランドフィナーレに向けて、1年間どうぞよろしくお祈りします。



総会に参加した皆様の様子



新役員紹介①



新役員紹介②

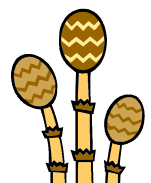
登下校の見守り、ありがとうございます

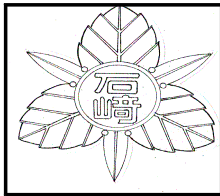
9・10日の朝、茨城町更生保護女性会の皆様が、校門に立ってあいさつ運動を行ってくださいました。また、地域の方々や保護者の皆様には、日頃から、子どもたちの安全確保のために立哨や安全パトロールを行っていただき、本当にありがとうございます。今年1年、交通事故ゼロをめざして、学校でも指導していきます。ご家庭でもお子様への声かけをお願いします。



楽しかった1年生を迎える会4/15

5年生によるアーチをくぐって登場した1年生。2年生からプレゼントをもらったり、全校で仲間集めゲームを行ったり、楽しいふれ合いの時間をもつことができました。企画・運営した中央委員の児童も、学校のリーダーとして率先して活動できました。





茨城町立石崎小学校
学校だより

絆

平成27年4月18日
NO.2 - PTA総会号 -
校長 西田 弘子

「自信と活力、つなげる未来」

いよいよ、最後の1年。最高の思い出を作り、未来につなげたい！

本校は、今年度末に142年の長い歴史に幕を閉じ、葵小学校に統合することになっていますが、この1年「自信と活力、つなげる未来」をスローガンに掲げ、児童が自分に自信をもって、生き生きと活動できるようにし、葵小学校での生活や自分の将来に夢や希望をもつことができるように教職員一同、全力を尽くしていきたいと思えます。

学校とご家庭は、よく車の両輪にたとえられますが、お子様のよりよい成長のためには、学校と保護者の皆様が連絡を密にし、お互いに理解を深めて、同じ方向を目指して共に指導に当たることが欠かせません。 **保護者の皆様のご理解とお力添えを よろしくお願ひします。**

○ はじめに

新年度の学校生活が始まって2週間が過ぎました。児童は、それぞれ1学年進級し、休み時間には1年生を見かけると、「一緒に遊ぼう」と、声をかけ、一緒に楽しそうに遊ぶなど、学校のお兄さんお姉さんぶりを発揮しています。「1年生を迎える会」も終わり、11名の新入生も日に日に学校生活に慣れてきました。

高学年の子が優しく、根気よく低学年の子の世話をするのは、長年受け継がれてきた本校のよいところです。今年も登校班の班長が、何度も振り返って後ろの下級生に声をかけ、安全に登校できるように注意しながら登校しています。

6年生は、毎朝、交代で1年生の教室へ行き、荷物の片付けを手伝ったり、読み聞かせをしたりして優しく面倒を見ている。また、時刻を守り、教師の指示がなくても、よいと思ったことは自分たちで考えて行動することができ、学校のリーダーとして頼もしい活躍を見せています。

このすばらしい子どもたちが、さらに意欲をもって、生き生きと楽しく生活できる学校づくりに努め、子どもたち一人一人が、将来、社会の荒波の中でもたくましく生き抜くために必要な力を身に付けられるよう、取り組んでいきたいと思えます。



1 本校の教育目標

確かな学力を身に付けた、心豊かでたくましい児童の育成

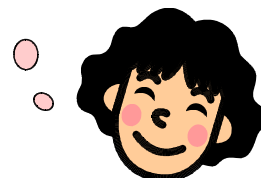
2 今年度の学校経営について

(1) 今年度の方針

「 **自信と活力、つなげる未来** 」

- 温かな人間関係を築き、一人一人を大切にします。
- たくましく生きる力を育て、夢や希望を育む。
- 保護者・地域とともに歩む。

全職員が一丸となって
実現を目指して取り組んでいきます。



(2) 身に付けたい「石崎しぐさ」

昨年度から集団生活を送る上で必要なことを身に付けるために、「石崎しぐさ」として8項目を選び、定着を目指しています。笑顔であいさつできる子、「ありがとう」や「ごめんなさい」が自然に言える子が増えてきました。これらが身に付くと、友達関係のトラブルもぐっと少なくなります。ご家庭でも一緒に取り組んでいただけますよう、お願いいたします。

< 石崎しぐさ >

○にこにこあいさつ	○はきはき返事
○もくもく清掃	○目と心で聞く
○くつをそろえる	○右側一列 静かに歩く
○あったかことば	○ちょっとボランティア



(3) 本年度の学校経営の重点と具現化のための施策

確かな学力の育成

～学ぶ意欲や自ら考え、表現する力の向上～

- ・**楽しく分かる授業**による主体的に学ぶ態度の育成
- ・**基礎・基本の確実な定着** ・**思考力・表現力の育成**



< 教材・板書・資料の工夫 >



たくさんの人の前でも
 自信をもって
 発表できるような
 力を付ける

< 個に応じた指導 >



< ペアやグループで伝え合う活動 >

< 人前で伝える活動 >

・**読書活動・家庭学習の充実**

今年度の主な取り組み

- ・ **授業力・指導力の向上** (授業の流し方, 課題・発問・板書の工夫, 活動量の確保)
- ・ 体験的な学習や個に応じた指導の充実 (指導法の工夫, TT, 少人数指導)
- ・ 生活・学習習慣の確立 (話の聞き方, 話し方, ノート指導の充実, まとめの時間)
- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 **月例テスト1回合格 80%以上**
- ・ 言語活動の充実 (読解力, 自力解決とペア, グループ, 全体で伝え合う活動の充実)
- ・ 学習の手引きの活用, 学校だより等による理解啓発 **家庭学習時間の確保80%以上**
- ・ 読書カードの活用と町立図書館との連携 **読書50冊 90%以上**
- ・ 学習の手引きの活用, 学校だより等による理解啓発 **読書カードの活用**

今年も全員, 読書50冊以上読破を目指します! ご家庭でも読書する習慣づけを。

豊かな心の育成

～ 豊かな人間関係をつくる力の育成 ～

- ・ 学級経営や特別活動の充実による絆づくり居場所づくり
- ・ きれいな環境づくりと道徳教育の充実
- ・ 石崎しぐさの定着
- ・ 積極的な生徒指導の充実



さまざまな体験活動を通して
人と関わり合う中で, 絆を深め,
思いやりなど豊かな心を育成する

今年度の主な取り組み

- ・ **よさを認め合い, 夢や希望を育む集団の育成** (失敗や間違いを生かす支持的集団づくり, チャレンジの奨励, 結果でなく過程を重視, 所属感・自己有用感の育成)
賞賛カード 学期2枚以上 自分にはよいところがある 80%
- ・ **児童の主體的な活動の推進** (課題を自分たちで解決し, 楽しく生活できるようにする学級・児童会活動。人のために働く喜びを実感できる清掃・ボランティア活動)
- ・ 思いやりや協力性, 耐える心, コミュニケーション能力の育成の育成
- ・ 命の授業や交流活動の推進 (田植え稲刈り等の体験活動, 地域高齢者との交流)
- ・ 児童会や明光中学校区六校連絡協議会・地域と連携したあいさつ運動の推進
- ・ 組織を生かした積極的な生徒指導と早期解決 **いじめ・不登校 未解消0**
- ・ **石崎しぐさの定着**

体力・生活力の向上

～ たくましい心と体づくり ～

子どものときに、体を動かす習慣や規則正しい生活習慣を身に付けるとともに、目標に向かって粘り強く取り組む経験を通して、転んでも自分で立ち上がる、たくましい心と体を育てたいと思います。

- ・安全指導の徹底
- ・体力向上の推進
- ・規則正しい生活の推進
- ・危機予測・回避能力の育成



< 体験を通して自分の身の守り方を学ぶ >



< 体育的行事 >

< 朝マラソン >

今年は、毎朝1周することに。



苦しくても、うまくいかなくても、励まし合い、頑張り抜く体験を通して、たくましさの育成を

町の陸上記録会で、リレーは
女子1位、男子2位。



今年度の主な取り組み

- ・交通安全指導の徹底と巡視活動
 - ・生活の約束の定着
 - ・授業での運動量の確保と朝マラソン，ロング昼休み等を活した運動習慣の定着
 - ・体力テストや体力アップ推進プランを活用した体力づくり
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯・**テレビを消して晩ご飯**」の推進と家庭への啓発
 - ・主体的に行動する態度を育む防災教育の充実
 - ・様々な場面（火災・地震・不審者・原子力災害・自然災害）に対応した避難訓練の実施
- 毎朝走る子 80%以上
A+B 60%以上

保護者・地域に開かれた学校づくり

～ 交流を深め、ともに歩む学校づくり ～

保護者や地域の皆様に学校の教育活動のねらいや児童の成長の様子について、積極的にお知らせし、ご理解とご協力をいただけるようにしていきたいと思ひます。

また、最後の年ですので、これまで以上に地域の皆様と交流する機会の充実を図り、絆を深めて地域に対する愛情と感謝の気持ちを持ち、地域に貢献できる児童を育てていきたいと思ひます。

・学校からの積極的な情報発信

- ・保護者・地域との連携
- ・地域人材・教育環境の活用
- ・学校評価・相談活動の充実



< 運動会の親子競技 >

< 読み聞かせ >

< 3世代交流 >



「ブライトリーダー」の方の大きな声で、子供たちに「お米の収穫を祝う」といって、お米の収穫を祝う。

今年度の主な取り組み

- ・学校、学年だよりによる積極的な発信と理解啓発 **年間20号以上**
- ・学校HPの更新 **月1回以上**
- ・体験学習やしらさぎ祭り(地域三世代交流)の充実
- ・女性会・区長会・歴代PTA役員との交流
- ・外部講師・学習ボランティアの積極的な活用と感謝の表明
- ・評価結果を生かし、期待と思ひに応える教育活動の改善と教員研修の充実

～ 子どもたちにとって、学校生活のすべてが社会に出るための勉強です ～

学校は、集団生活なので、それぞれの主張がぶつかり合い、けんかやトラブルで嫌な思いをすることもあると思ひます。そういう機会に「どうしたらいいのか」を、子どもたち自身に考えさせ、乗り越える経験を通して、相手を思いやる心やルールを守ることの大切さ、他の人と折り合いを付ける力などをそだてていきたいと思ひます。また、「みんな違って、それでいい」「間違えながらできるようになっていくのだ」という意識を多くの児童がもてるようにし、学習や生活での失敗を生かし、「つまずいても、もう一度チャレンジする」たくましい児童を育てていきたいと思ひます。

～ お気軽に相談を ～

本校では、担任だけでなく、教職員誰でも児童や保護者の相談に応じます。
ご心配なことやお気づきのこと、何か分からないことなどがありましたら、
お気軽に担任や学校にご相談ください。

<保護者の皆様へのお願い>

交通事故防止にご協力を

子どもたちは、こんな危険な状況の中を登校しています



自分たちは、1列になっているつもりでも、
広がって走行したり、歩いたりしている様子が見受けられます。



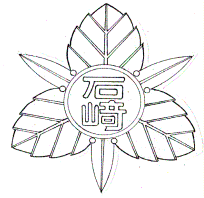
時折、登下校の様子をご覧になり、道路の端を歩いたり走行したりできるように、
声かけをお願いします。

107名で、平成27年度スタート

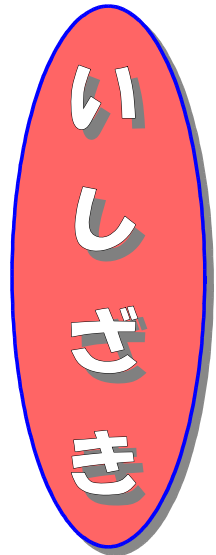


創立142年目を迎える伝統ある石崎小学校。有終の美を飾るべく、最後の1年がスタートしました。職員一同一丸となって、子どもたちの一生の思い出となる学校生活を送れるよう、頑張っていきたいと思ひます。1年間、どうぞよろしくお祈ひします。

今年度は、『自信と活力、つなげる未来』を学校経営の方針とし、たくましく生きる力を育て、夢や希望を育てていきたいと考えています。そのためにも、温かな人間関係を築き、一人一人を大切にしながら、保護者や地域の皆様と共に歩んでまいりたいと思ひますので、ご理解・ご協力をよろしくお祈ひします。



学校だより



2015年
4月15日(水)

第1号

発行所 茨城町立
石崎小学校
茨城町中石崎 527
TEL 029-293-7016
校長 西田 弘子

新しい学年への希望・意欲が見えた始業式(4/6)

4月6日(月)に行われた平成27年度の始業式では、2年生から6年生まで、すべての児童が落ち着いた態度で式に臨むことができました。式の中で、3年生の鴨川星怜奈さんや6年生の海老澤明歩さんが、算数や読書を頑張ることや皆から信頼されるよう行動



することなど、新年度の抱負

を堂々と発表することができました。また、学校長からは、「自信をもって、元気にたくましく、生き生きと生活し、一人一人が学校をもっとよくしていきましょう。」と、「石崎しぐさ」(思いやりを持って、進んで働く)を例にしながら、児童への励ましの言葉がありました。この日のりりしい態度に、今年度もきっとすばらしい年になると実感することができました。

ようこそ1年生第69回入学式4/7

4月7日(火)は、茨城町長 小林宣夫様や茨城町議会議員 佐藤勇様をはじめ、16名の来賓をお迎えして、第69回入学式が盛大に行われました。



11名の入学生は名前を呼ばれると大きな声で返事して起立し、1年生ながらその堂々とした態度に頼もしさを感じました。3年生による歓迎のことはも上手に行うことができ、会

場が温かい雰囲気包まれていました。これから、1年生は明るく元気に、2~6年生は1年生にやさしく思いやりの心をもって生活していただくことを期待しています。



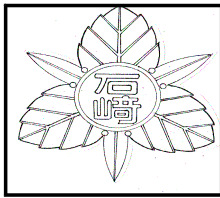
1年間よろしくお祈ひします職員紹介

校長	西田 弘子
教頭	稲田 義弘
教務主任	安島 孝博
1年1組	千田 恵子
2年1組	大河 由実
3年1組	郡司 友子
4年1組	高木 正子
5年1組	田中 教太
6年1組	松山 龍樹



しらさぎ	大木 圭子
養護教諭	潮田 千晴
事務主任	福島 亜衣
非常勤講師	藤咲 はるみ
非常勤講師	田所 富美江
特別支援員	森田 久美子
給食補助	根矢 明美

※ 養護教諭 池田夕紀子は育休中です。
本年もどうぞよろしくお祈ひします。



茨城町立石崎小学校
学校だより
茨城町中石崎527

絆

平成27年6月10日
NO.8(田植え特集号)
校長 西田 弘子

田植え体験 ～楽しさの先にあるもの～

6月5日(金)に、石崎小恒例の田植え体験を行いました。聞けば、この行事は30年以上も続くとのこと、親子二代にわたって体験された方もいらっしゃると思います。今年度が最後かと思うと、感慨深いものがあります。

当日は、ブライトレーダーの海老澤洋寿さんや奥谷利一さん、中田秀光さん、大山宏治さんに講師として指導していただきました。また、PTA本部役員の皆様にもお手伝いいただきながら、子どもたちみんなが貴重な体験をすることができました。

約1反歩(約1000㎡)の田んぼを、機械の力を借りずに、子どもたち自身の手で植えたということがすばらしいと思います。このように本格的な田植えの経験をできる学校は、県内にもそれほど多くはないと思います。

田んぼに入った瞬間、歓声が上がりました。子どもたちは泥遊びが大好き。田んぼに入るだけで、自然と笑顔がこぼれていました。田植えは、ペア学年で同時に行いました。上学年の児童が下学年にやさしく教えている姿はほほえましいものでした。田んぼから上がった後、水道で下学年生の手足の泥を洗い落としてあげている姿からは、「石崎っ子」の面倒見の良さや優しさを感じました。



元気いっぱい3・5年生



なかよく植えた2・4年生



1年生を優しくリードする6年生

しかし、どれだけがんばったとしても、そこは子どもの仕業・・・子どもたちが教室へ帰った後、植え足りないところや植え方が雑になっているところを、ブライトレーダーやPTAの皆さんがそと直してくれました。どうもありがとうございました。



ブライトレーダーの海老澤さんから子どもたちに質問がありました。「この田んぼの水は、どこから引いているのでしょうか。」

答えは、「那珂川」です。水戸市の北部、渡里からはるばる引いているのだそうです。海老澤さんが子どもの頃はまだ水が引かれておらず、この辺りはキノコが採れる林だったとのことでした。木を切り倒し、土地を平らに耕し、石を取り除いて、水が漏れないように土質を変えていく・・・楽しいだけでなく、この機会にそうした先人の苦勞にも思いをはせられるようにしていきたいと思います。

